

成瀬惺三郎註釋

龍頭
詳解
刑
法
譯
釋

明治十三年
十二月
養光
兒玉武藏版

東京圖書館

新門三

部一

架五
號

類

東不圖
書
卷之四

特15
221

成瀬悳三郎註釋

鰲頭
詳解
刑
法
註
釋

明治十三年
十二月
發兌
兒玉氏藏版

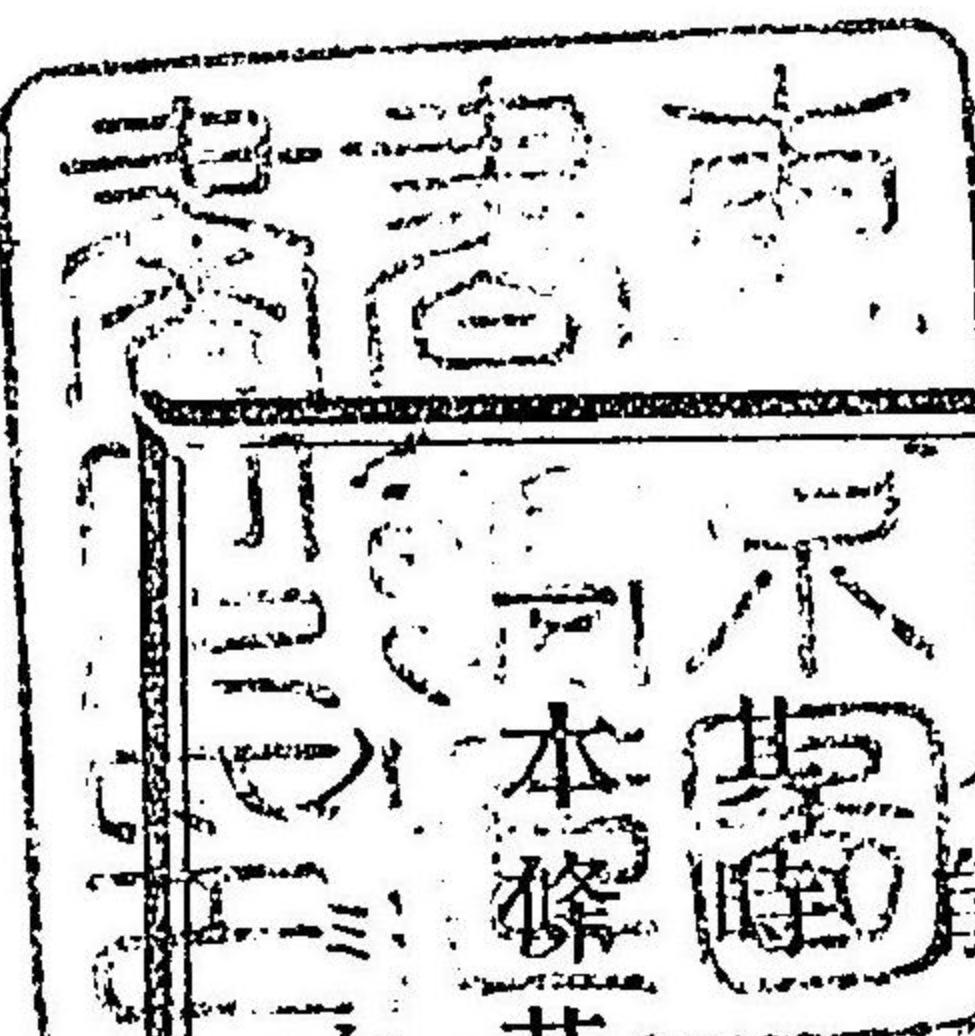


例言

一方今文華大ニ開ケ人氣一變ス復明治初年ノ比ニ非ス茲ニ於テ政府新法ヲ立テ之ヲ頒布ス諸家隨テ之ガ註釋ヲ爲シ卑俗ヲシテ其意ヲ解シ易カラシム然ルニ其文或ハ簡易ニ過キ或ハ高尚ニ屬ス且詳細ナル者ハ冊子重大ニナリ高價ニシテ使用ヲ欲クニ似タリ余之ヲ憾ム故ニ諸書ヲ錯綜シ折中以テ其宜ニ適センコトヲ庶希ス

一註釋ハ專ラ和解ヲ旨トスレモ純然タル俗語ニ綴ルハ編者能ハサル所ナリ故ニ往々幼稚ノ解シ難キ處ナシトセス

其意ノ解シ易キ所ハ別ニ註釋ヲ爲サス唯盤頭ニ舉ル之レ紙數ノ徒ラニ嵩シテ恐レテナリ



一假名使用ハ自ラ法則アリテ之ヲ犯ス可ラサルハ編者亦知
 ル所ト雖モ之ヲ正スニ暇アラス而シテ律書ノ文意ニ害ナ
 キヲ以テ強テ之ヲ改正シ時日費サス
 一此書倥偬ノ際ニ稿ヲ脱ス加フルニ余輩ノ淺見ヲ以テス故
 ニ其意ノ未タ尽サ、ル處ナシトセス再版ノ日ヲ以テ更正
 セントス看客之ヲ恕セス

編者識

詳解 刑罰註釋目錄

第一編 總則

第一章 法例 自第一條至第五條

第二章 刑例

第一節 刑名 自第六條至第十一條

第二節 主刑處分 自第十二條至第三十二條

第三節 附加刑處分 自第三十三條至第四十一條

第四節 徵償處分 自第四十二條至第四十五條

第五節 刑期計算 自第四十六條至第四十九條

第六節 假出獄 自第五十條至第五十三條

第七節 期滿免除 自第五十四條至第五十八條

第八節 復權 自第六十三條至第六十五條

第三章	加減例	自第六十六條至第七十四條
第四章	不論罪及ヒ減輕	
第一節	不論罪及ヒ宥恕減輕	自第七十四條至第八十五條
第二節	自首減輕	自第八十五條至第八十八條
第三節	酌量減輕	自第八十九條至第九十條
第五章	再犯加重	自第九十一條至第九十八條
第六章	加減順序	第九十九條
第七章	數罪俱發	自第一百條至第一百三條
第八章	數人共犯	
第一節	正犯	自第一百八條至第一百九條
第二節	從犯	自第一百九條至第一百十條
第九章	未遂犯罪	自第一百十一條至第一百十三條

第十章 親屬例 自第一百十四條至第一百十五條

第二編 公益ニ關スル重罪輕罪

第一章	皇室ニ對スル罪	自第一百二十六條至第一百二十六條
第二章	國事ニ關スル罪	
第一節	內亂ニ關スル罪	自第一百二十八條至第一百二十八條
第二節	外患ニ關スル罪	自第一百二十九條至第一百二十九條
第三章	靜謐ヲ害スル罪	
第一節	兇徒聚衆ノ罪	自第三十六條至第三十六條
第二節	官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪	自第一百四十條至第一百四十條
第三節	囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿スル罪	自第一百四十二條至第一百五十三條

第四節 附加刑ノ執行ヲ適ル、罪 自第百五十四條至第百五十六條

第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及ヒ所有スル罪 自第百五十七條至第百六十一條

第六節 往來通信ヲ害スル罪 自第百六十二條至第百七十一條

第七節 人ノ住所ヲ侵スル罪 自第百七十三條至第百七十四條

第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪 自第百七十六條至第百七十七條

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪 自第百八十一條至第百八十二條

第四章 信用ヲ害スル罪

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪 自第百八十三條至第百九十三條

第二節 官印ヲ偽造スル罪 自第百九十四條至第百九十五條

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪 自第百九十七條至第百九十八條

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪 自第百九十九條至第百一百零二條

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪 自第百一十三條至第百一十七條

第六節 偽證ノ罪 自第百一十八條至第百二十六條

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪 自第百二十七條至第百三十一條

第八節 身分ヲ詐證スル罪 自第百三十二條至第百三十三條

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪 自第百三十四條至第百三十六條

第五章 健康ヲ害スル罪

第一節 阿片烟ニ關スル罪 自第百三十七條至第百四十二條

第二節 飲料ノ淨水汚穢スル罪 自第百四十三條至第百四十五條

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪 自第百四十六條至第百四十九條

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ

規則ニ關スル罪 自第二百五十條至第二百五十二條

健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪 自第二百五十三條至第二百五十五條

私ニ醫業ヲ爲ス罪 自第二百五十六條至第二百五十八條

風俗ヲ害スル罪 自第二百六十三條至第二百六十八條

死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪 自第二百六十四條至第二百六十六條

商業及ヒ農工業ヲ妨害スル罪 自第二百六十七條至第二百七十二條

官吏瀆職ノ罪

第一章 官吏公益ヲ害スル罪 自第二百七十三條至第二百七十五條

第二章 官吏人民ニ對スル罪 自第二百七十六條至第二百八十八條

第三編 身體財產ニ對スル罪

第三章 官吏財產ニ對スル罪 自第二百八十九條至第二百九十一條

第一章 身體ニ對スル罪

第一節 謀殺故殺ノ罪 自第二百九十二條至第二百九十八條

第二節 毆打創傷ノ罪 自第二百九十九條至第三百零八條

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪 自第三百零六條至第三百一十條

第四節 過失殺傷ノ罪 自第三百一十七條至第三百十九條

第五節 自殺ニ關スル罪 自第三百二十一條至第三百三十一條

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪 自第三百三十二條至第三百三十五條

第七節 脅迫ノ罪 自第三百三十九條至第三百四十二條

第八節 墮胎ノ罪 自第三百四十五條至第三百五十五條

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪 自第三百四十六條至第三百四十七條

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪 自第三百四十四條至第三百四十五條

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪 自第三百四十六條至第三百四十七條

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪 自第三百四十五條至第三百四十六條

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪 自第三百六十二條至第三百六十五條

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪 自第三百六十六條至第三百六十七條

第二節 強盜ノ罪 自第三百六十八條至第三百六十九條

第三節 遺失物埋藏物ニ關スル罪 自第三百八十五條至第三百八十七條

第四節 家資分散ニ關スル罪 自第三百八十八條至第三百八十九條

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪

自第三百九十八條至第三百九十九條

第六節 贓物ニ關スル罪 自第三百九十九條至第四百一十條

第七節 放火失火ノ罪 自第四百一十條至第四百一十一條

第八節 決水ノ罪 自第四百一十一條至第四百一十二條

第九節 船舶ヲ覆没スル罪 自第四百一十五條至第四百一十六條

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル

罪 自第四百一十七條至第四百二十四條

第四編 違警罪 自第四百二十五條至第四百三十五條

目錄畢

○ 總則 總ハ聚
 シ 則メ東子
 ノ 則ハ法則
 ノ 則ハ法則
 四 百三十一條
 ノ 全體ニテハ
 ス 全キニテハ
 則チ云フ法
 例及刑法ノ原
 ル大綱ヲ示ス
 例規ナリ示ス
 ○ 重罪 禁獄
 ○ 輕罪 罰金
 フ云 ○ 違警罪
 フ云 ○ 違警罪
 拘留或ハ科料
 以テ罰スル
 者式註違ト云
 違者式註違ト云

詳詮 刑法註釋

第一編 總則

第一章 法例

第一條 凡法律ニ於テ罰ス可キ罪別テ三種ト

爲ス

一 重罪

二 輕罪

三 違警罪

第二條 法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所爲ト雖

モ之ヲ罰スルヲ得ス

本條ハ刑法ニ於テ明カニ罰文ヲ掲ケサル時ハ舊
 刑律ノ如ク他律ヲ援引比附シ又ハ不應爲等ヲ以
 テ罰スルヲ得サル即第五條云然レモ第五條ニ揭ケ
 ル所ノエトキハ即第五條ヲ據トナシテ各其法律

稱ナリ罪名ノ改

○所爲惡事ト見

○所犯

○判決

○處分

○比較

○軍人軍屬

也シ○軍人軍屬
ノ軍人トハ海陸
ノ將校士卒水
夫武學生軍醫
會計吏書記百

規則ニ從フテ

第三條 法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ホス

トナ得ス○若シ所犯頒布以前ニ在テ未タ判決

ヲ經サル者ハ新舊ノ法ヲ比照シ輕キニ從テ處

斷ス

第二項ノ解設例ニハ此刑法實際施行ハ明治十四

年一月ヨリナラシ然ルニ十三年十月ニ惡事ノ爲

メニ捕ハ以前ノ獄ニ滞在シテ十四年二月比ニ處分

ナルキハ以前ノ律令ト此刑法トニ比較シテ寬ナ

ル方ニ從テ處分スルヲ云其比較ノ法ハ新舊比較表

ニ附テ見ルヘシ

第四條 此刑法ハ陸海軍ニ關スル法律ヲ以テ

論ス可キ者ニ適用スルヲ得ス

言ハ軍人軍屬ハ軍律ヲ以テ罰シ其他特ニ軍務ニ

關シ發スル布達規則ヲ以テ罰スヘキ者ハ此刑ヲ

以テ處斷セ

サルヲナリ

第五條 此刑法ニ正條ナクシテ他ノ法律規則

ニ刑名アル者ハ各其法律規則ニ從フ○若シ他

ノ法律規則ニ於テ別ニ總則ヲ掲ケサル者ハ此

刑法ノ總則ニ從フ

第一項ハ此刑法ニ正條明文アルハ固ヨリ此刑法

ニ從テ處斷スルハ勿論ナレ此刑法ニ明文ナキ

者ハ他ノ法律規則ニ依テ處斷セヨトナリ第二

項ハ他ノ法律規則ニ總則ヲ掲ケタルハ夫レニ從

ヒ總則ニ從フ可シト也

第二章 刑例

第一節 刑名

工役夫等ノ常
員アル者軍屬
トハ城堡等ノ器
火藥糧食等ノ器
倉庫造船場材
木草秣等ノ監材
守支給使役運
輸ナトスル者
○他ノ法律規
則此後出ル所
民ノ商法ノ類
及ヒ出板銃獵
海關銀行郵便
賣姪米商會所
度量衡地券坑
法株式取引烟
草帶刀租稅訴
訟公債紙車賣
藥公債鐵

第六條刑ハ主刑及ヒ附加刑ト爲ス○主刑ハ之
ヲ宣告ス○附加刑ハ法律ニ於テ其宣告スル者
ト宣告セサル者トナ定ム

○監視刑ニ處
タル年限ノ満
チタル後ニ政
府ノ監察ヲ受
ルナリ但再ヒ
刑ヲ犯スナリ
フセクナリ
○沒收 禁制物
ニ罪關シタル
件等ハ官ニ取
リ揚ルナリ
荷ホ第四十三
條見合 ○檢束
スヘシ
メトリ
○規則ニ定ル
所ノ官吏檢事

ヲ禁ス

第十五條

死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懐胎ナ
ル時ハ其執行ヲ停メ分娩後一百日ヲ經ルニ非
サレハ刑ヲ行ハス
刑ハ所犯一身ニ止ル故ニ産後一百日ヲ過キ母身
血氣調ヒ生兒乳育ノ後刑ヲ行フ也

第十六條

死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フ者アレ
ハ之ヲ下付ス但式ヲ用ヒテ葬ルヲ許サス
死刑ニ處セラレタル者ノ遺骸ハ親類朋友ヨリ願
ヘハ下付ナルト雖モ神主或ハ佛僧ヲ請シ葬具ヲ
調ヘ諭號ヲ付ケケナトシテ埋葬ナリ

第十七條

徒刑ハ無期有期ヲ分タス島地ニ發
遣シ定役ニ服ス○有期徒刑ハ十二年以上十五
年以下ト爲ス

及ヒ監獄長
等ノ類ヲ云
臨檢ニ檢視ス
ル ○大祀元始
嘗祭新嘗 ○令節
祭大坂等 ○國
紀元節、天
長節、等
祭孝明天皇祭、春
祭、皇靈祭、仁孝
天皇祭、神武天
皇祭、秋季皇靈
祭、後桃園天
皇祭、等ヲ云 ○
宣告申渡 ○分
娩後俗ニ産後
如シ兒ヲナリ
遺骸刑ニ處セ

夫々ニ定リ、タル島地ニ發遣シ、礦山及ヒ不毛地等
ヲ開墾スルナリ、猶舊幕時代ノ佐土或ハ佃島等へ
發遣セシ
カ如シ

第十八條

徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セス内地
ノ懲役場ニ於テ定役ニ服ス

第十九條

徒刑ノ囚六十歳ニ滿ル者ハ通常ノ
定役ヲ免シ其體力相當ノ定役ニ服ス

第二十條

流刑ハ無期有期ヲ分タス島地ノ獄
ニ幽閉シ定役ニ服セス○有期流刑ハ十二年以

上十五年以下ト爲ス

無期アリ有期アリテ共ニ徒刑ニ同シコトハ特ニ
國事犯ノ爲メニ設ル刑ナリ抑國事犯ノ如キハ其
所犯尤モ重シト雖モ今日有罪タルモ後年無罪ナル
ル甚シキ者ニ非ス

死体 ○ 謚

ナリ 號生以前ノ行狀

法名或ハ戒名

ト ○ 發遣 島地

カワス ○ 徒刑

徒ハ奴也法律ノ

ヤッコナリ懲役

ニリ重シ故ニ

島地ニツカワ

メシテ全國ノ為

ムシ ○ 體力相當

ハ其體カ壯年

ノ如クナラス故

ニ寛仁ノ御處

役ニ為ス ○ 流

ヲ知ル可カラス故ニ特ニ此刑ヲ設ケ彼此權衡

第二十一條 無期流刑ノ囚五年ヲ經過スレハ

行政ノ處分ヲ以テ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ

限リ居住セシムルヲ得

有期流刑ノ囚三年ヲ經過スルモ亦同シ

獄内ニ於テ行狀謹慎良善ナル者ハ幽閉ヲ免セラ

ルヲ得其有期ノ者ハ本刑期間如此シテ限滿テ内

第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役

ニ服ス但六十歳ニ滿ル者ハ第十九條ノ例ニ從

フ ○ 重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六

年以上八年以下ト爲ス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服

セス ○ 重禁獄ハ九年以上十一年以下輕禁獄ハ

六年以上八年以下ト爲ス

禁獄モ亦國事犯ノ爲ニシテ設ケシ者ニシテ重懲

トモニ懲役ノ年限ニ同シ但懲役ハ苦役セシメ禁

獄ハ幽閉ス然レトモ囚人ノ情願アレハ好ム所ノ

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ

定役ニ服シ輕禁錮ハ定役ニ服セス ○ 禁錮ハ重

輕ヲ分タス十一日以上五年以下ト爲シ仍ホ各

本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

禁錮ハ定役ニ服スルト服セサルヲ以テ重懲

分ナ其定役ニ服セサル輕禁錮ヲ以テ國事犯其他

第二十五條 定役ニ服スル囚人ノ工錢ハ監獄

ノ規則ニ從ヒ其殘分ヲ獄舎ノ費用ニ供シ其殘

刑流カハ水ノ流
度テ昔ハ特赦
又ハ内地ニ還
レハ内地ニ還
カサセサリシ
ノ爲メ特ニ設
ケタルナレハ
徒罪ノ刑モシ
有ルナ ○ 幽閉
メコ ○ 行政
ノ處分ノサバキ
○ 禁錮 禁錮場
犯人ヲ留置シ
テ外出ヲ置ル
スサ ○ 工錢

罪人服役中力
 作由テ得タ
 監獄規則ニ照
 シテ其幾分チ
 満期出獄ノ際
 其者ニ與トエ
 就業ノ資本ト
 爲サ
 シム
 ○納完皆悉
 取テ納ム○折
 算折ハ准折ト
 換チフル義ナリ
 卽チ罰金一圓
 ニ換ヘテ算フ日
 リナ
 ○檢察官
 社會ノ代人ト
 爲リ公訴ヲ行
 フ官ニシテ刑
 事ノ原告人ナリ

分ヲ囚人ニ給與ス但現後百日以内ハ給與ノ限
 ニ在ラス
 第二十六條 罰金ハ二回以上ト爲シ仍ホ各本
 條ニ於テ其多寡ヲ區別ス
 第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内
 ニ納完セシム若限内納完セサル者ハ一圓ヲ一
 日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ滿サル
 者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス○罰金ヲ禁錮ニ換
 フル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス檢察官ノ求ニ因リ
 裁判官之ヲ命ス但禁錮ノ期限ハ二年ニ過ル
 ヲ得ス○若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其
 經過シタル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免ス親屬其

○禁錮限内
 罰金ヲ納云

以前罰金チ
 納ムヘキ時
 爲シテ禁錮ニハ
 スナリシ後ニ罰
 金ヲ納ルキハ罰
 其日數ヲ除ヒリ
 シ殘リノ金ヲ
 ケテ納ムルヲ
 ナリ
 ○扣除
 親屬第百十
 ○親屬
 以下所ノ親屬
 也
 云フモノ皆同

他ノ者代テ罰金ヲ納メタル時モ亦同シ

其罰金千萬圓ニ至ルモ尙ホ二年ヲ限リトスル者
 ハ却テ重罪區内ニ入ルノ恐レアレハナリ又代納
 刑ニ非サレハ必シモ犯人所有ノ自由ヲ束縛スルノ
 理アレハナリ

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服
 セス其刑期ハ一日以上十日以下ト爲シ仍ホ各
 本條ニ於テ其長短ヲ區別ス

以下三十條マテハ違警罪ノ處分ヲ記載ス但違警
 罪ノ拘留科料ハ輕罪ノ禁錮罰金トハ名目モ異ナ
 拘留ニ處シ或ハ科料ニ處スルモノナリ

第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以
 下ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

○裁判確定

ノ日犯人ニ刑
其ノ上控訴、上告、
故障、哀訴、等ノ
上訴、期限ヲ經
過シ又ハ上訴
ハ其爲シタル時
シタル後ナリ
其期限ハ治罰
法但シテ法ニ詳
ス處ニミテ限ラ
ト云トキ○國
民ノ特權創定法
ハ其制限ハ知
ルハ佛國ノ所
雖ト

四編違警罪ノ
各條ニ詳シ

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ
納完セシム若シ限内納完セサル者ハ第二十七
條ノ例ニ照シ之ヲ拘留ス

第三節 附加刑處分

第三十一條 剝奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ス

- 一 國民ノ特權
- 二 官吏ト爲ルノ權
- 三 勳章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權
- 四 外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權
- 五 兵籍ニ入ルノ權
- 六 裁判所ニ於テ證人ト爲ルノ權但單ニ事實

謂國士ノ權ト
云然レハ公ケ
歟關シタル被
選ハ明ニ之ヲ
權ハ明ニ之ヲ
國民ノ特權○
官吏ト爲ルノ
權現任ノ官ハ
官制トナル權
○勳章年金云
々終身勳章ヲ
貴ヲ所ノ金ハ
此ヨリシレヌ
○位記シラ○
貴號華族ト云

ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

七 後見人ト爲ルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子

孫ノ爲メニスルハ此限ニ在ラス

八 分散者ノ管財人ト爲リ又ハ會社及ヒ共有

財産ヲ管理スルノ權

九 學校長及ヒ教師學監ト爲ルノ權

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

ニ宣告ヲ用ヒス終身公權ヲ剝奪ス

無期刑ニ處セラレタルモノハ公權ヲ剝奪セラル
、モ致テ其身ニ響應スルヲナシト雖ヒ亦假出獄
期滿免除其他種々ノ恩典アリ第二十一條第五
三條第五十八條第六十四條等ヲ見合スヘシ又
期ノモハ復權ノ赦アリ
第六十三條ヲ見合スヘシ

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣

云ナリ名 ○恩給
 軍人ノ恩給扶助
 助 ○外國ノ勳
 章外國ノ勳
 國ニ於テ勳章ヲ得
 權其外國ニ於テ勳
 自由佩用スルハ
 ○兵籍ニ入ル
 ノ權徵兵ト爲
 權ニ兵籍ニ入
 シテ兵籍ニ入
 ハルヲ得サニル
 ハルヲ得サニル
 者ナリ ○裁判
 所ニ於テ云々

告ヲ用ヒス現任ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公
 權ヲ行フヲ停止ス
 第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル
 者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス監視ノ期間間公權ヲ行
 フヲ停止ス ○主刑ヲ免シテ止メ監視ニ付シ
 タル者亦同シ
 前條ハ禁錮ニ處セラレタル者ハ其禁錮限内第三
 十一條ニ掲ル總テ公權ヲ行フヲ停止スルヲ
 云ヒ本條ハ禁錮罰金ヲ分タス監視ニ付スルヲ
 告ヲ受ケタル者ハ公權ヲ行フヲ停止スルヲ
 フ本條ニ科セラル者モ同様公權ハ監視中停止セ
 ノミナリ科セラル者モ同様公權ハ監視中停止セ
 ノ類ノ如シ但監視ノ限滿レハ停止公權モ從テ
 減スル
 第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別

民事刑事ニ就
 テ證據人トナ
 ル信用ノ權尤
 事實申立ルニ
 止ルハ證據人タル
 ノ權ナキ明カナリ
 ○後見人ト爲
 ルノ權後見人ト
 ナスハ勿論但書
 ノ通り我カ子孫
 ステ親類ノ許可
 ナクテハ後見ハ
 テキ又其分限ノ狭
 キヲ思ヒ知ル
 可 ○分散者ノ
 シ ○分散者ノ
 管財會計不
 如意ニ付諸方
 ノ拂フヘキ故
 其債主申合セ

ニ宣告ヲ用ヒス其主刑ノ終ルマテ自ラ財産ヲ
 治ルヲ禁ス
 本條ハ則チ第十條第三項ノ禁治産ノ一ニテ其他
 期間ハ自己ノ財産ト雖モ之ヲ贈遺結約典賣其他
 金額ヲ受納スル等ノ一ハ身親ヲ
 自在ニ爲スヲ禁セラルハナリ
 第三十六條 流刑ノ囚幽閉ヲ免セラレタル時
 ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スル
 一ヲ得
 第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別
 ニ宣告ヲ用ヒス各本刑ノ短期三分ノ一ニ付シ
 キ時間監視ニ付ス
 本刑短期三分ノ一トハ有期徒流刑十二年ノ三分
 ノ一四年重懲役重禁獄ハ九年ノ三分ノ一三年其
 他六年ノ期ハ即チ二年間監視ニ付ス
 視ニ付スルヲ云フナリ

非割付ル也○刑
 期計算月ノ計日
 フメス○執
 示メ申シ渡セ
 行シ通リニ行セ
 ハシムルナリ
 裁判確定ハ前
 三十條ノ所ニ
 於テ已ニ解セ
 リ其日迄ハ罪
 ナリ拘留シ置
 ○上訴ハ冤
 義ニテ其裁判
 宣告ヲ不服ユ
 へ上告シテ保
 スルナリ○保
 釋金ヲ納メ
 テ吟味中ノ罪

一 犯人自ラ上訴シテ其上訴正當ナル時ハ前
 判宣告ノ日ヨリ起算ス若シ其上訴不當ナル時
 ハ後判宣告ノ日ヨリ起算ス
 二 檢察官ノ上訴ニ係ル者ハ其上訴正當ナル
 ト否ト分タス前判宣告ノ日ヨリ起算ス
 三 上訴中保釋ヲ得又ハ責付セラレタル者ハ
 其日數ヲ刑期ニ算入スルヲ得ス
 第三項ノ刑期ニ算入セサル保釋又ハ責付云々ハ
 犯人ヨリ爲シタルト檢察官ヨリ上訴ヲ爲シタル
 トニ拘ラス共ニ算入ス
 第五十二條 刑期限内逃走シ再ヒ捕ニ就キタ
 ル者ハ其逃走ノ日數ヲ除キ前後受刑ノ日ヲ計
 算ス

第九十五條第四百十二
 條以下見合スヘシ

第六節 假出獄

人ヲ宿預ケニ
 願フナリ治罪法
 第二合十條以
 下見合スヘシ
 ○責付ケ又村預
 五人組預○假
 ケノコト○假
 出獄囚人ヲ厲
 ヲ導ク爲内務
 卿ノ取計ヒテ
 以テ假スナリ
 獄ヲ許スナリ
 ○假改ニクコト
 シカトナリ○特
 別ベツガ如シト
 ○疎虞ソカ○通
 懈怠クオコ○通

第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者
 獄則ヲ謹守シ假改ノ狀アル時ハ其刑期四分ノ
 三ヲ經過スルノ後行政ノ處分ヲ以テ假ニ出獄
 ナ許スヲ得○無期徒刑ノ囚ハ十五年ヲ經過
 スルノ後亦同シ○流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照
 シ幽閉ヲ免スルノ外假出獄ノ例ヲ用ヒス
 無期徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ免スト雖モ唯島地ニ於
 テノミ免サルハコトヲ得ルナリ罰金ヲ輕禁錮ニ換
 免サル者ハ此例ヲ以テ
 第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サルト
 雖モ仍ホ島地ニ居住セシム

算前刑ノ殘刑
トナリ算フ
○期
滿免除法律ニ
ル期限ノスギ
サリタルニヨ
テ刑ヲ免セ
刑ノ執行ヲ道
レタル者宣告
アリシ後ニ脱
走スルカ途送
セラシムル中
ヨリ逃亡スル
カ又刑限内
獄舎若クハ外
役場ヨリ逃走
シタル者五十
九條カ内ニ捕
就カサレハ捕

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル者ハ行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヲ得但本刑期限内特別ニ定メタル監視ニ付ス

第五十六條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ直ニ出獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入スルヲ得ス

假出獄ヲ許サレタル者更ニ重罪輕罪ヲ犯シタルハ假令疎虞懈怠若クハ罰金ノ罪ト雖モ直ニ其出獄ヲ停止シ前後ノ刑ヲ通算シテ第九十五條ノ例ニ從ヒ處分スルヲ云

第五十七條 刑期限内更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ假出獄ヲ許サス

第七節 期滿免除

第五十八條 刑ノ執行ヲ道レタル者法律ニ定

其罪ヲ遺
○死刑
ハ三十年ハ死刑
十歳以上ニシテ
テハ申渡シナラ
キナリ故ニ夫
ヨリ三身ノ潜
メ捕縛テ脱シ
官モ亦其犯人
ナシテ其至人
困難云フヘカ
ラ必ス悔悟ス
ヤ本刑以下推
ルナリ知
○禁制物
第十三四
條ノ第一ニ註
リ其處ノア

メタルヲ期限ヲ經過スルニ因テ期滿免除ヲ得
刑法ノ期滿免除ハ治罪法又ハ民法ノ期滿免除ト
ハ自ラ異ナリ官其犯人ヲ捕ヘン爲メ時々令狀ヲ
發スルハ期滿免除ヲ得ヘキ期日ナシ第六十二條
見合スルハシヨレ其害一人ニ止ルトト社會ニ及フト
異ナレハナリ又主刑ニ附加スル剝奪公權停止公
權及ヒ監視ハ期滿免除ヲ得ス第三十九條第四十
條見合
ス可シ

第五十九條 主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除
ヲ得

一 死刑ハ三十年
二 無期徒刑ハ二十五年
三 有期徒刑ハ二十年
四 重懲役重禁獄ハ十五年
五 輕懲役輕禁獄ハ十年

見シル
可シル
○關席裁
判本
人呼
出シ
荷シ
ホ出
席セ
サレ
請ル
ユヘ
原告
ノサ
請ル
求ニ
ヨリ
罰金
ハ主
刑ト
共ニ
期滿
免
除ヲ
得○
沒收
ハ五
年ヲ
經テ
期滿
免
除ヲ
得但
禁
制物
ハ期
滿免
除ノ
限ニ
在ラ
ス
第六
十一
條 期
滿免
除ハ
刑ノ
執行
ヲ遁
レタル
日ヨリ
起算
ス若
シ捕
ニ就
キ再
ヒ逃
走シ
タル
時
ハ其
逃走
ノ日
ヨリ
起算
シ關
席裁判
ニ係
ル時
ハ其
宣告
ノ日
ヨリ
起算
ス
第六
十二
條 刑
ノ執行
ヲ遁
レタル
者ニ
對シ
逮
捕シ
タル
時
ハ其
逃走
ノ日
ヨリ
起算
ス
第六
十三
條 公
權ヲ
剝奪
セラ
レタル
者ハ
主刑
ノ終
リタル
日ヨリ
五年
ヲ經
過ス
ルノ
後其
情狀
ニ因
リ將
來ノ
公權
ヲ復
スル
ヲ得
○主
刑ノ
期
滿免
除ヲ
得タル
者ハ
監視
ニ付
シタル
日ヨリ
五
年ヲ
經過
スル
ノ後
亦同
シ
復權
ハ右
ノ期
限ヲ
檢テ
差出
シタル
時本
人ノ
署名
捺印
シテ
上奏
シ勅
裁ヲ
以テ
將來
得ヘ
キ公
權ヲ
復與
セ
ラレ
ル
ナリ

第六
十條 剝奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿
免除ヲ得ス○附加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免
除ヲ得○沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁
制物ハ期滿免除ノ限ニ在ラス
第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル
日ヨリ起算ス若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタル時
ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ關席裁判ニ係ル時ハ
其宣告ノ日ヨリ起算ス
期滿免除ヲ起算スルニハ犯人刑ノ宣告ヲ受ケタ
ル限内逃走シタル日ヨリ起算スル
第六十二條 刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮
捕ヲ命シタル時ハ最終ノ令狀ヲ出シタル日ヨ
リ期滿免除ヲ起算ス

第八節 復權

第六十三條

可シル
○最終
令狀
引勾
リオ
ハ○令
狀引
勾
リ
狀勾
留狀
收監
狀等
ノ類
ナリ
其令
狀ニ
ハ犯
人
住所
等或
ハ人
和骨
格等
ヲ記
載シ
テ之
ヲ巡
査ヲ
行フ
セシ
ム治
罪以
法
第百
十八
條以
下見
合○復
權
取揚
ラレ
テモ
リシ
公權
ヲテ
モ
トニ
復ス
ルヲ
モ
其法
式ハ
治罪
ノ
法第
四第
百七
十
條以
下見
合ス
○情
狀在
心ニ

第六十二條 刑ノ執行ヲ遁レタル者ニ對シ逮
捕ヲ命シタル時ハ最終ノ令狀ヲ出シタル日ヨ
リ期滿免除ヲ起算ス
第六十三條 公權ヲ剝奪セラレタル者ハ主刑
ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過スルノ後其情狀
ニ因リ將來ノ公權ヲ復スルヲ得○主刑ノ期
滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五
年ヲ經過スルノ後亦同シ
復權ハ右ノ期限ヲ檢テ差出シタル時本人ノ署名捺印
シテ上奏シ勅裁ヲ以テ將來得ヘキ公權ヲ復與セ
ラレ
ル
ナリ

○將來ノツナヘテ
署名捺印ヘテ
カキイナリ
上奏天皇陛下
トコ勅裁天皇
陛下ノ御
復與カヘラシ
○大赦誰レハ彼

第六十四條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直
チニ復權ヲ得特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ赦
狀中記載スルニ非レハ復權ヲ得ス○赦ニ因テ
復權ヲ得タル者ハ自ラ監視ヲ免シタル者トス
第六十五條 復權ハ勅裁ニ非レハ之ヲ得可カ
ラス

第三章

加減例

第六十六條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕スヘキ
時ハ後ノ數條ニ記載シタル例ニ照シテ加減ス
但シ加ヘテ死刑ニ入ルヲ得ス
第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加
減ス

カテナク總許
ノ罪人ヲ免許
セラル○特赦
一人或ハ數人
ヲ限リ格別ニ
免許トナシ復
ハ勅裁ニ非レ
ハ云々行政處
分又ハ裁判權
テハ行ヘサル
陛下必ス天上
シ上ノ後トス
○加減例ニ依
テ刑ヲ加ヘテ
重クシ又減シ
テ輕クスルハ

- 一 死刑
- 二 無期徒刑
- 三 有期徒刑
- 四 重懲役
- 五 輕懲役

常事犯ニ係ル重罪ノ刑ヲ加減スル順序チ云但死
刑ニ一等ヲ減スレハ無期徒刑トナレハ無期徒刑
得ス但書以下其例後モ同シ
第六十八條 國專ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ等
級ニ照シテ加減ス

- 一 死刑
- 二 無期徒刑
- 三 有期徒刑

テ官ニ悔ニ申シト出
 然ルニトキハ本
 刑ニ一ナリ代
 人ヲモテ自首
 ○酌量減輕裁
 官ノ權ヲ以テ
 事情ノ輕重ヲ
 キ者ト認ムル
 時ハ其情ヲク
 スルトコトナリ
 ○再犯加重再
 刑ニ一ニ等ヲ加
 刑ニ一ニ等ヲ加
 尙ホ戒心ヲ改

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歲以上十六歲ニ
 滿サル者ハ其所爲是非ヲ辨別シタルト否トヲ
 審案シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪ヲ論セ
 ス但情狀ニ因リ滿二十歲ニ過キサル時間之ヲ
 懲治場ニ留置スルヲ得○若シ辨別アリテ犯
 シタル時ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ二等ヲ減ス
 第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歲以上二十歲
 ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕ノ本刑ニ一等ヲ減ス
 第八十二條 瘖啞者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ
 論セス但情狀ニ因リ五年ニ過サル時間之ヲ懲
 治場ニ留置スルヲ得
 第八十三條 違警罪ハ滿十六歲以上二十歲ニ

セナル○管轄
 故ナル○再犯加
 イシハ○再犯加
 重ハ初犯ノ云
 々初犯ノ後判
 宣告ノ後判
 雖ニ再犯ノ期
 内ニ再犯ト爲
 時ハ再犯ト爲
 サス止メテ數
 俱テテ處分ス
 ラシテテ處分
 ルヲ○執行申
 云フ○執行申
 渡シフ通リ云
 リ行フ通リ云
 ○徵收テト

滿サル者ト雖ニ其罪ヲ宥恕スルヲ得ス○滿
 十二歲以上十六歲ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シ
 テ本刑ニ一等ヲ減ス十二歲ニ滿サル者及ヒ瘖
 啞者ハ其罪ヲ論セス
 第七十九條 ヨリ以下五ヶ條其歲齡ニ從テノ處分
 法ヲ示ス人ノ知識タルヤ體格ニ從ヒ徐々成長ス
 ルニ及テ宥恕及ヒ不備具スル者ナレハ此ノ如ク法律
 ニ於テ宥恕及ヒ不備具スル者ナレハ此ノ如ク法律
 ト瘖啞者トハ法律ニ於テ如何ナル所爲ト雖ニ刑
 スヘカヲサハ者トス蓋シ懲治場ニ留置スルハ刑
 トシ罰スルニ非サルナリ唯其情狀ニ因
 リ將來ヲ警戒スルカ爲メ懲戒スルノミ
 第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不諭
 罪宥恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス
 第三百九條ヨリ第三百三條マテハ特別ノ宥恕
 減輕トシ第三百十四條第三百十五條ハ特別ノ不
 諭罪

テ官ニ申シト出リ
然ルトキハ本
刑ニ一等級シ
人ナシテ自首
スルモ同シ首
○酌量減輕裁
官ノ權ヲ以テ
事情ノ輕重ヲ
キ者ト認ムル
時ハ其情ヲク
スルトコトナ
○再犯加重再
刑ニ一等級ハ
刑ニ一等級ハ
尙ホ戒心ヲ改

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歲以上十六歲ニ
滿サル者ハ其所爲是非ヲ辨別シタルト否トヲ
審案シ辨別ナクシテ犯シタル時ハ其罪ヲ論セ
ス但情狀ニ因リ滿二十歲ニ過キサル時間之ヲ
懲治場ニ留置スルヲ得○若シ辨別アリテ犯
シタル時ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ二等ヲ減ス
第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歲以上二十歲
ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シテ本刑ニ一等ヲ減ス
第八十二條 瘖啞者罪ヲ犯シタル時ハ其罪ヲ
論セス但情狀ニ因リ五年ニ過サル時間之ヲ懲
治場ニ留置スルヲ得
第八十三條 違警罪ハ滿十六歲以上二十歲ニ

セナル○管轄
故ナリ○再犯加
イシハ○再犯加
重ハ初犯ノ云
々初犯ノ後判
雖ニ再犯ト爲
内ニ再犯ト爲
時ハ再犯ト爲
サハ再犯ト爲
俱テ再犯ト爲
ラシテ再犯ト
云フテ再犯ト
渡シテ再犯ト
○徵收テト云

滿サル者ト雖ニ其罪ヲ宥恕スルヲ得ス○滿
十二歲以上十六歲ニ滿サル者ハ其罪ヲ宥恕シ
テ本刑ニ一等ヲ減ス十二歲ニ滿サル者及ヒ瘖
啞者ハ其罪ヲ論セス
第七十九條 ヨリ以下五ヶ條其歲齡ニ從テノ處分
法ヲ示ス人ノ知識タルヤ體格ニ從ヒ徐々成長ス
ルニ及テ宥恕及ヒ不備具スル者ナレバ此ノ如ク法律
ニ於テ宥恕及ヒ不備具スル者ノ別アリ其十二歲以下
ト瘖啞者トハ法律ニ於テ如何ナル所爲ト雖ニ刑罰
スヘカヲサレトス蓋シ懲治場ニ留置スルハ刑罰
トシテ罰スルニ非サルナリ唯其情狀ニ因
リ將來ヲ警戒スルカ爲メ懲戒スルノミ
第八十四條 此節ニ記載スルノ外特別ノ不論
罪宥恕減輕ハ各本條ニ於テ之ヲ記載ス
第三百九條 ヨリ第三百十三條マテハ特別ノ宥恕
減輕トシ第三百十四條第三百十五條ハ特別ノ不
論罪

○判決處斷
 カニ處分ト言フ
 ナリ○三犯以
 上ノ者ト雖モ
 云々幾犯ト雖
 モ止テ本刑ニ
 外加重セサル
 ルトナリセサ
 加減順序ニ於
 テ加減順序ハ
 設クハハハハ
 順キハハハハ
 ルハハハハハ
 幸ハハハハハ
 ノハハハハハ
 ツハハハハハ
 加無フ刑ハ死

第二節 自首減輕

第八十五條 罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ニ一等ヲ減ス但謀殺故殺ニ係ル者ハ自首減輕ノ限ニ在ラス

第八十六條 財産ニ對スル罪ヲ犯シタル者自首シテ其贓物ヲ還給シ損害ヲ賠償シタル時ハ自首減等ノ外仍ホ本刑ニ二等ヲ減ス其全部ヲ還償セスト雖モ半數以上ヲ還償シタル時ハ一等ヲ減ス

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ官ニ自首スルト同ク前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

刑ニテ死ニ入ル
 一ハハハハハ
 矢ハハハハハ
 リハハハハハ
 シハハハハハ
 先ハハハハハ
 有ハハハハハ
 元ハハハハハ
 ナハハハハハ
 從犯傳スル者
 ○未遂犯罪惡
 ナ行ハハハハ
 テマハハハハ
 ナ者○數罪俱
 發カバ一時ニア

本條ハ被害者ニ對シ自首シタル者ヲ云フ被害者ニ對シ贓物ヲ返還シ損害ヲ賠償シテ其過ヲ謝シタル者ハ前二條ノ官ニ自首シタル者ト同クシク一等又ハ二等ヲ減スルコトヲ云フ

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例ヲ掲ケタル者ハ各其本條ニ從フ

第三節 酌量減輕

第八十九條 重罪輕罪違背罪ヲ分タス所犯情狀原諒ス可キ者ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スルコト得○法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト雖モ其酌量ス可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕ス

二 宥恕減輕
三 自首減輕

四 酌量減輕

本條ハ犯罪ノ模様ニ因リ一罪ニ就キ總則ニ掲ル再犯加重宥恕減輕自首減輕酌量減輕ヲ同時ニ行フ可キ時ノ爲メ法律ヲ以テ定メ置也

第七章 數罪俱發

第百條 重罪輕罪ヲ犯シ未タ判決ヲ經スニ罪以上俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從テ處斷ス
○重罪ノ刑ハ刑期ノ長キ者ヲ以テ重ト爲シ刑期ノ等シキ者ハ定役アルヲ以テ重ト爲ス○輕罪ノ刑ハ其所犯情狀最重キ者ニ從テ處斷ス
第百一條 違警罪二罪以上俱ニ發シタル時ハ

各其刑ヲ科ス若シ重罪又ハ輕罪ト俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從フ

第百二條 一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク若クハ等シキ者ハ之ヲ論セス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ通算ス但前發ノ刑罰金科料ニ該リ已ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑期ニ通算ス○若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發セサル罪再犯ノ罪ト俱ニ發シタル者ハ其再犯ト比較シ一ノ重キニ從ヒ前發ノ刑ヲ通算ス

本條ハ二罪以上ヲ犯シ一罪已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シタル時ヲ云例ヘハ有期流刑ノ罪ト輕懲

役ノ罪トナルハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 判決ノ輕懲役トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 前發ノ輕懲役トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 反シテ輕懲役トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 四年ノ罪發覺スルハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 キ罪發覺スルハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 發ノ刑期トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 期流刑トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 種類等ノ刑罰トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 ○前發ノ刑罰トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 金發ノ該刑罰トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 後發ノ該刑罰トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 該刑罰トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 料已ニ納完シタル者ハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 刑期トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 ル時餘罪トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 テ其再犯ノ罪トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 セテ再犯ノ罪トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 ノ重キ罪トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 =該刑罰トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 然ルニ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ
 後又輕懲役トシテハ先ツ有期流刑ノ罪發覺シテハ

○教唆ノ人ハ
 シカスルメ
 猶夫チハ
 如○詐術
 シカスルメ
 リワ欺瞞
 ○脅嚇
 シカスルメ

加ヘ重懲役ト爲ス此時前發ノ罪トシテハ
 タ發覺セサル有期徒刑ノ罪トシテハ
 ハ之ヲ前發ノ輕懲役トシテハ
 役ト比較シテ輕懲役トシテハ
 ノ重キ者トシテハ
 斷スルコト云也

第百三條 數罪俱ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト
 雖モ其沒収及ヒ徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

第八章 數人共犯
 第四十三條及ヒ第
 四十五條以下見合

第一節 正犯

第百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆
 正犯ト爲シ各自ニ其刑ヲ科ス
第百五條 人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメ
 タル者ハ亦正犯ト爲ス

勢チ力イ ○ヒ 壓
 服セ ○シ 扇
 動ダ 鼓テ 舞ヤ ○モ 正シ 犯テ ノ
 身ル 分ダ ○テ 正ハ 犯ハ ノ
 々身 子分 父ニ 皇因 族リ 指云 定
 類撃 目ナ 的ツ ○リ 指定
 外シ ノ 罪サ 指ム 定サ ○以
 思外 ノ 罪ル 指ヨ 定リ
 惡シ キ ○メ 指ユ 示シ

人ハ 詐チ 術教 以唆 スルテ 人ト ハ 種々 ノ 方法 アリ テ 一ナ ラ ス 或
 ハ 詐術 以テ 人ト 欺瞞 シ 或ハ 威力 以テ 人ト 脅脅
 嚇シ 或ハ 兇器 等ヲ 遺ル ナリ 或ハ 贈遺 シ 即チ 犯罪 セシ ム
 ル 爲メ 兇器 等ヲ 遺ル ナリ 或ハ 贈遺 シ 即チ 犯罪 セシ ム
 シ 或ハ 勢力 以テ 人ト 脅脅 シ 因テ 人ト 煽動 鼓舞
 シ 重罪 又ハ 輕罪 以テ 人ト 脅脅 シ 因テ 人ト 煽動 鼓舞
 之チ 正犯 同刑 ニ 處ス ル ナリ

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス
 可キ時ハ他ノ正犯從犯及ヒ教唆者ニ及スヲ得ス

第百七條 犯人ノ多數ニ因リ刑ヲ加重ス可キ
 時ハ教唆者ヲ算入シテ多數ト爲スヲ得ス

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當
 算入セサル也第三百六十九條ノ如キ時モ教唆者
 算入セサル也第三百六十九條ノ如キ時モ教唆者

リ犯人教唆ニ乘シ其指定シタル以外ノ罪ヲ犯
 シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教唆者ノ指示シタ
 ル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆者ヲ處
 斷ス

一 所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止メ其指
 定シタル罪ニ從テ刑ヲ科ス

例ハハ竊盜ヲ爲ス可キヲ教唆シタル時犯人却
 テ強盜ヲ爲セハ教唆シタル者止メ竊盜ノ罪ヲ以
 テ論スルヲ云フナリ

二 所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ
 所ノ罪ニ從テ刑ヲ科ス

第二節 從犯

第百九條 重罪輕罪ヲ犯スヲ知テ器具ヲ給

○器具ヲ給與
 惡事ヲ行フハ
 キ道具ヲアタ
 一ヘル ○誘導指
 示 ○オシヘミ
 豫備意ヲテ用

置ノクニテ其
家ノ飼犬ヲ逐
ハニテ道ヲ又
シラヘ置等
ノ類ナリ
○
幫助者ナシ
テ等ノ
○
容易キヤ
○
意外ノ障礙
○
思ハ外ノ
○
舛錯ガマ
ヒチ

與シ又ハ誘導指示シ其他豫備ノ所爲ヲ以テ正
犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯
ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス但正犯現ニ行フ
所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ止メ其知ル
所ノ罪ニ照シ一等ヲ減ス

但以下ハ例ヘハ竊盜ヲ爲スヘキ事ヲ誘導幫助セ
シニ正犯却テ強盜ヲ行ヘハ幫助セシ所ヨリ重シ
ノ類ヲ云フナリ

第百十條 身分ニ因リ刑ヲ加重ス可キ者從犯
ト爲ル時ハ其重キニ從テ一等ヲ減ス○正犯ノ
身分ニ因リ刑ヲ減免スヘキ時ト雖モ從犯ノ刑
ハ其輕キニ從テ減免スルヲ得ス

第九章 未遂犯罪

○着手
○假令
○配偶者
○嫁

第百十一條 罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備
ヲ爲スト雖モ未タ其事ヲ行ハサル者ハ本條別
ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セス
未遂犯罪ハ第百二十五條等ノ如ク明カニ未遂犯
罪ノ時ニ於テ罪ヲ科スト記載シタル時ノ外ハ其
刑ヲ科セサルナリ

第百十二條 罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ行
フト雖モ犯人意外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ未
タ遂ケサル時ハ已ニ遂ケタル者ノ刑ニ一等又
ハ二等ヲ減ス
本條ハ已ニ着手シテ未タ目的ヲ遂ケサル事ヲ云
フナリ

第百十三條 重罪ヲ犯サントノ未タ遂ケサル
者ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス○輕罪ヲ犯サン

○兄弟姉妹ノ
 子^{俗ニ甥} ○其
 配偶者^{ヒノヒメ}
 前條ト同シク己ニ其事ヲ行ハントシテ假令其事
 ルヲ遂ストモ前條ニ照シ止タ本刑ヨリ一又ハ二
 等ヲ減スルノミ 輕罪ハ各本條ニ於テ一々記載
 シタル時(第百四十九條ノ類)ノ外前條ニ照サスシ
 テ第百一十一條ニ據リテ處斷スルコトヲ云フナリ

トシテ未タ遂ケサル者ハ本條別ニ記載スルニ
 非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルコトヲ得ス
 ○違警罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ其
 罪ヲ論セス
 前條ト同シク己ニ其事ヲ行ハントシテ假令其事
 ルヲ遂ストモ前條ニ照シ止タ本刑ヨリ一又ハ二
 等ヲ減スルノミ 輕罪ハ各本條ニ於テ一々記載
 シタル時(第百四十九條ノ類)ノ外前條ニ照サスシ
 テ第百一十一條ニ據リテ處斷スルコトヲ云フナリ

第十章 親屬例

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左
 ニ記載シタル者ヲ云フ

一 祖父母父母夫妻
 二 子孫及ヒ其配偶者

ノ兄弟姉妹
 伯叔父母ト云
 ヒ其配偶者ヲ
 モチザナリ ○配
 偶者ノ祖父母
 父母古ノ親屬
 父母例ニ外祖
 父母ト云フ俗
 父通稱シテハ
 父ト云フ者ハ
 以下推シ ○高
 知ルルハ推シ
 祖父母トヤウ
 訓ス五世ノ
 祖ヲ云フ ○
 曾祖父母ヲガ
 ナホナバト云
 四世ノ祖ナリ

三 兄弟姉妹及ヒ其配偶者
 四 兄弟姉妹ノ子及ヒ其配偶者
 五 父母ノ兄弟姉妹及ヒ其配偶者
 六 父母ノ兄弟姉妹ノ子
 七 配偶者ノ祖父母父母
 八 配偶者ノ兄弟姉妹及ヒ其配偶者
 九 配偶者ノ兄弟姉妹ノ子
 十 配偶者ノ父母ノ兄弟姉妹
 第百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外
 祖父母同シ父母ト稱スルハ繼父母嫡母同シ子
 孫ト稱スルハ庶子曾玄孫同シ兄弟姉妹ト稱ス
 ルハ異父異母ノ兄弟姉妹同シ養子其養家ニ於

○繼父母子ニ妻ノ、
 ○嫡母正妻ノ、
 ○庶子正妻ノ、
 ○公室對スル罪、
 ○養家ハレ、
 ○公益ニ關スル重罪、

ル親屬ノ例ハ實子ニ同シ
 第二編 公益ニ關スル重罪輕罪
 第一章 公室ニ對スル罪
 第一百十六條 天皇三后皇太子ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス
 第一百十七條 天皇三后皇太子ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ三月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス○皇陵ニ對シ不敬ノ所爲アル者亦同シ
 前條ハ玉體ニ對スル罪ヲ云ヒ本條ハ尊敬ヲ缺ク罪ヲ云フ其御前ニ係ルト否トナ分クテ不敬ノ所爲(馬)辱侮斥誹毀強訴等一切ノ不敬ヲ云フアル者ハ輕罪ノ刑ト爲シテ本條ヲ以テ罰ス
 第一百十八條 皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死

輕罪國家ノ安寧ヲ妨害スル、
 ○公室對スル罪、
 ○天皇對シテ惡、
 ○三后對シテ惡、
 ○危害ニ關スル重罪、
 ○不敬ニ關スル重罪、

刑ニ處ス其危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期徒刑ニ處ス
 皇女皇孫皇太子ノ妃ニ對スル罪亦本條ニ依テ罰ス可キモノナリトス
 第一百十九條 皇族ニ對シ不敬ノ所爲アル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 皇族ノ墳墓ニ對スル所爲ハ一般人民ノ墳墓ニ對スル罪ト異ナルヲナシ
 第一百二十條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス
 第一百十六條及ヒ第一百十八條ハ別ニ宣告ヲ用ヒス監視ニ付スル法ナリ總則第三十七條ヲ見ルヘシ
 第一百十七條及ヒ第一百十九條ハ輕罪ナレハ本條別ニ記載スルナリ第三十八條ヲ見合スヘシ其例以

メシ但シ第三十七條第三十八條ノ例ヲ示サンカ爲

第二章 國事ニ關スル罪

第一節 内亂ニ關スル罪

第二百一十一條 政府ヲ顛覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルヲ目的ト爲シ内亂ヲ起シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

本條ノ目的ヲ以テ内國ノ騷亂ヲ起シタル者ハ其害全國ノ安危ニ關スルハ總則ニ照ラシテ皆正犯ト爲シ各自ニ其テ科スルハモトナレハ數千百人ノ多キ盡ク死刑ニ處スルハ到底行レ難キヲナレハ其情狀ヲ量リ輕重ヲ分テ處斷スルヲ左ノ如シ

- 一 首魁及ヒ教唆者ハ死刑ニ處ス
- 二 群衆ノ指揮ヲ爲シ其他樞要ノ職務ヲ爲シタル者ハ無期流刑ニ處シ其情輕キ者ハ有期流刑

ノ不禮 ○所爲
 ザシハ ○皇陸天
 代々ノ ○玉體
 御墓 ○罵詈
 ラタソカ ○侮
 ノハ ○侮
 ワロウシリ ○侮
 辱ズカナドリハ
 ○誹毀
 強訴順次ヲ經
 ルニ訴ヘ ○妃
 皇太子ノ此字
 サキナリ此字
 常ニハ「ヒ」ト
 云ヘ「ハ」ト此
 デハ「ハ」ト讀
 ハ「ハ」ト讀ガ

順ナ ○國事ニ

關スル罰 謀反

事犯罪所謂國 ○

内亂ニ關スル

罪 國内ノ騷亂

○政府ヲ顛

覆ストハ立君

シテ共和政府

ヲ創立セシト

欲シ内閣ヲ變

更シ又ハ各官

署ヲ典廢セシ

トスルノ類ナ

ニ處ス

三 兵器金穀ヲ資給シ又ハ諸般ノ職ヲ爲シタル者ハ重禁獄ニ處シ其情輕キ者ハ輕禁獄ニ處

ス

四 教唆ニ乘シテ附和隨行シ又ハ指揮ヲ受ケ

テ雜役ニ供シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕

禁錮ニ處ス

第二百二十二條 内亂ヲ起スノ目的ヲ以テ兵器

彈藥船舶金穀其他軍備ノ物品ヲ劫掠シタル者

ハ己ニ内亂ヲ起シタル者ノ刑ニ同シ

第二百二十三條 政府ヲ變亂スルノ目的ヲ以テ

人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ

人ヲ謀殺シタル者ハ兵ヲ舉ルニ至ラスト雖モ

○邦土ヲ僭竊
 トハ一國或ハ
 數國(舊國名ニ
 就テ云フ)ヲ切
 リ取リテ自分
 王トナリテ○
 オルトナリテ
 朝憲ヲ紊亂イ
 フノ法ヲ○到
 ミダス○魁
 底マツ○首魁
 張本○教唆者
 人○
 ナシダスルモシ
 ナシダスルモシ
 ○群衆ノ指揮
 大勢ヲサ○樞
 シヅスル○

内亂ト同シク論シ其教唆者及ヒ下手者ヲ死刑ニ處ス
 本條已ニ内亂ト同ク論ストアリ然ラハ金銀器具ヲ資給シ又ハ附和隨行シタル者ハ第二百一十一條ノ區別ニ從テ處分スル者ナラン
 第二百二十四條 前三條ノ罪ハ未遂犯罪ノ時ニ於テ乃チ本刑ヲ科ス
 第二百二十五條 兵隊ヲ招募シ又ハ兵器金穀ヲ準備シ其他内亂ノ豫備ヲ爲シタル者ハ第二百一十一條ノ例ニ照シテ各一等ヲ減ス○内亂ノ陰謀ヲ爲シ未タ豫備ニ至ラサル者ハ各二等ヲ減ス
 第二百二十六條 内亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲スト

要ノ職類ニテ
 大事ノ役○兵
 器道具ナリ○
 金穀兵糧○資
 給兵器金穀ヲ
 ○附和隨行
 隨テ行クナキ
 リ○雜役(兵糧
 人送ル○劫掠
 オビヤカシカ
 スメル)○
 ○政府ヲ變亂

雖モ未タ其事ヲ行ハサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス
 第二百二十七條 内亂ノ情ヲ知テ犯人ニ集會所ヲ給與シタル者ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス
 内亂鎮定ノ後逃走シタル犯人ヲ贓匿シ若シハ隱避セシメタル者ハ第五十一條ニ依ル可シ
 第二百二十八條 内亂ニ乘シテ人ノ身體財産ニ對シ内亂ノ目的ニ關セサル重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ通常ノ刑ニ照シ重キニ從テ處斷ス
 例ハ通常ノ刑輕ク指揮ヲ爲シタル者別ニ強盜ヲ犯セハ通常ノ刑輕ク内亂ノ罪重シ内亂ノ重キニ從ヒ無期流刑又ハ有期流刑ニ處スヘシ若シ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者別ニ故殺ヲ犯セハ内亂ノ刑輕ク

通常ノ刑重シ通常ノ刑ニ從
ヒ無期徒刑ニ處スルノ類

外患ニ關スル罪

第二百二十九條 外國ニ與シテ本國ニ抗敵シ又

ハ外國ト交戰中同盟國ニ抗敵シ其他本國ニ背

叛シテ敵兵ニ附屬シタル者ハ死刑ニ處ス

本條ハ日本人民外國ニ服從シ日本國ニ敵對シ又

ハ外國ト戰爭中日本國ト和親ナル同盟國ニ抗敵

シ(例ヘハ日本國ト支那國ト合縱ノ時ニ際シ支那

ノ軍兵ニ敵對シ支那國ヲシテ我ニ對シ怨ヲ懷カ

ニ附屬シテ之ヲ助ケタル者ハ死刑ニ處スルヲ云

フ

第三百十條 交戰中敵兵ヲ誘導シテ本國管内

ニ入ラシメ若クハ本國及ヒ同盟國ノ都府城塞

又ハ兵器彈藥船艦其他軍事ニ關スル土地家屋

政府ヲ顛覆ス
ト云フカゴト

○下手者ヲ手

○招

○準

○豫

○陰

○集會所ヲ給

○鎮定

○陰

○藏匿

○陰

避サルコトニ

故殺ノ金錢財寶

或ハ女色ヲ生

ヨリ口論ヲ生

ヨリ其場ヲ殺

○外患ニ對ス

ル罪ニヨリテ

我ノ害ヲナシ

抗敵カテム

○同

盟國我東シテ

○附屬

物件ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス
第三百十一條 本國及ヒ同盟國ノ軍情機密ヲ
敵國ニ漏泄シ若クハ兵隊屯集ノ要地又ハ道路
ノ險夷ヲ敵國ニ通知シタル者ハ無期流刑ニ處
ス○敵國ノ間諜ヲ誘導シテ本國管内ニ入ラシ
メ若クハ之ヲ藏匿シタル者亦同シ
第三百十二條 陸海軍ヨリ委任ヲ受ケ物品ヲ
供給シ及ヒ工作ヲ爲ス者交戰ノ際敵國ニ通謀
シ又ハ其路遺ヲ收受シテ命令ニ違背シ軍備ノ
缺乏ヲ致シタル時ハ有期流刑ニ處ス
第三百十三條 外國ニ對シ私ニ戰端ヲ開キタ
ル者ハ有期流刑ニ處ス其豫備ニ止ル者ハ一等

○防禦ブナセリ

○局外中立ナド

ツラヘモ

○靜謐ヒツヲ害ス

ル罪ハキ世間ノ騷サウ

犯トハ別テ國事

○兇徒キヤウト聚衆ソウジュウ

惡事モヲナスメ

○嘯聚シヤウキョウツヨメルア

變革シ或ハ官吏ノ處分ヲ改正セントスルニ係ル
其所行稍ヤ内亂ニ類似スト雖モ政府全體ニ係ル
ト一箇ノ官廳又ハ一箇ノ官吏ニ對シ兇暴ヲ行フ
ニ止ルトク別アルナリ故ニ其處分ノ異ナルヲ如
此

第百三十七條 兇徒多衆ヲ嘯聚シテ官廳ニ喧
鬧シ官吏ニ強逼シ又ハ村市ヲ騷擾シ其他暴動
ヲ爲シタル者首魁及ヒ教唆者ハ重懲役ニ處ス
其嘯聚ニ應シ煽動シテ勢ヲ助ケタル者ハ輕懲
役ニ處シ其情輕キ者ハ一等ヲ減ス附和隨行シ
タル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第百三十八條 暴動ノ際人ヲ殺死シ若クハ家
屋船舶倉庫等ヲ燒燬シタル時ハ現ニ手ヲ下シ
及ヒ火ヲ放ツ者ヲ死刑ニ處ス○首魁及ヒ教唆

○暴動バウドウバラウン

解散ザンツマケルシ○

首魁シュウケイラカシ○

揆キ暴動バウドウサ一度ニ

トウナガカコラシザ

ノルモ○廢弛ハイシメヤ

ル○喧鬧ケンノウチトアキ

カケツル○強逼キヤウヒツ

セキマビシク○騷サウ

擾ヤウガサスリ○煽動ハンドウ

者情ヲ知テ制セサル者亦同シ

第二節

官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害ス

ル罪

此節ハ人民ヨリ官吏ニ對シ公務ノ執行ヲ妨害ス
ル罪ヲ云ヒ第二百七十六條以下ハ官吏ノ人民ニ
對シ自由ヲ妨害スル罪ヲ云フ尤多人數ニテ官吏
ノ公務ヲ行フヲ妨害スルハ仍ホ兇徒聚衆ノ本條
ニ依テ罰ス可
キモノトス

第百三十九條 官吏其職務ヲ以テ法律規則ヲ
執行シ又ハ行政司法官署ノ命令ヲ執行スルニ
當リ暴行脅迫ヲ以テ其官吏ニ抗拒シタル者ハ
四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス○暴行脅迫ヲ以テ其
官吏ノ爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者

アテギ
クヤテ
ススキ
ツ
○燒燬

亦同シ

第四百十條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ官吏ヲ毆傷

シタル者毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ

重キニ從テ處斷ス

本條例ハハ豫メ謀テ官吏ヲ毆打シ因テ死ニ致シ

タル時ハ第三百二條ニ照シ一等ヲ加ヘ又ハ逮捕

官吏ノ罪人ヲ追捕スルニ拒捕シテ毆殺シタル時

ハ第三百三條ニ照シ一等ヲ加ヘ無期徒刑ニ處ス

若シ官吏ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ

罹ラシメタル者ハ第三百一條ニ照ラシ一等ヲ加

フハ前條ノ刑已ニ重シ此ノ如キハ止テ前條ノ刑

則一般人民ヲ毆傷スル罪ト異ナルヲナシハ

第四百十一條 官吏ノ職務ニ對シ其目前ニ於

テ形容若クハ言語ヲ以テ侮辱シタル者ハ一月

以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス○其目前ニ非スト雖モ刊

行ノ文書圖畫又ハ公然ノ演說ヲ以テ侮辱シタ

ル者亦同シ

第三節 囚徒逃走ノ罪及ヒ罪人ヲ藏匿

スル罪

第四百十二條 已決ノ囚徒逃走シタル者ハ一

月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス若シ獄舎獄具

ヲ毀壞シ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ逃走シタル者

ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

本條ノ刑ヲ執行スル順序ハ總則第九十五條ニ出

ツ若シ無期徒刑ノ囚徒ノ罪ヲ犯シタル時ハ本

條ノ刑ヲ云渡シ別ニ獄則ニ從ヒ其懲罰ヲ加ヘ且

總則第五十七條ニ照ラシ終身假出獄ヲ許サハル

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

罪俱發ヲ以テ論ス可キモ別罪ヲ犯シタル時ハ數

○官吏ノ職務
ヲ行フヲ妨害
スル罪ノ裁判官
ヲ爲シ租稅係
官吏ノ造酒ヲ

檢査スルナルヲ
マダゲタルヲ類

○行政司法

官署ノ命令ヲ

執行内務卿司

フセヲ行○暴行

脅迫ヲシテハ

マドシセ○毆傷

キウチタハケル

○毆打創傷ノ

各本條第九百

條以下ノ各○

本條ニ照シ○

逮捕官吏人捕縛
 スル官吏有
 拒捕フセグヘチ
 ○罹ルカハ○形
 容手屈ニテ或ハ口
 ナスル○侮辱
 シシメトリハ○
 刊行ノ文書圖
 畫ハシタルスリ
 書類又ハエツ○
 囚徒逃走ノ罪
 及ヒ罪人ヲ藏

同罪ヲ犯セシ者ト混ス可カラズ其場合ニ於テハ
 第九十一條以下ノ例ニ從フナリ
 第四百十三條 已決ノ囚徒逃走ノ罪ヲ犯スト
 雖モ再犯ヲ以テ論セズ其刑期限内再ヒ逃走シ
 タル者ハ再犯ヲ以テ論ス
 第四百十四條 未決ノ囚徒入監中逃走シタル
 者ハ第四百十二條ノ例ニ同シ但原犯ノ罪ヲ判
 決スル時ニ於テ數罪俱發ノ例ニ照シテ處斷ス
原犯判決ノ上シ若シ無罪ニ歸スレハ直チニ逃走
ノ刑ヲ科スルナリ
 第四百十五條 囚徒三人以上通謀シテ逃走シ
 タル時ハ第四百十二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加
 フ
 第四百十六條 囚徒ヲ逃走セシムル爲メ兇器

匿スル罪人
 ケタルトキマ
 罪人ヲカクマ
 フタルキ云○
 處分法ヲシテ
 已決シテハケ
 ミタルト○未決
 ミタルト○未決
 サイメケツノ
 マメケツノ
 ○獄舎ヤト○獄
 具手鎖連鎖檻
 車其他繩ノ類
 ○毀壞
 ○懲罪
 ○原犯
 ○通謀

其他ノ器具ヲ給與シ又ハ逃走ノ方法ヲ指示シ
 タル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ二
 圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス囚徒ノ
 逃走ヲ致シタル時ハ一等ヲ加フ
 第四百十七條 囚徒ヲ劫奪シ又ハ暴行脅迫ヲ
 以テ囚徒ノ逃走ヲ助ケタル者ハ一年以上五年
 以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰
 金ヲ附加ス○若シ重罪ノ刑ニ處セラレタル囚
 徒ニ係ル時ハ輕懲役ニ處ス
本條ハ舊律ニ所謂劫囚ノ罪ニ當ル可キ者ニシテ
看守者或ハ護送者ニ對シ暴行脅迫ヲ用ヒ囚徒ヲ
劫奪シ或ハ逃走ヲ助ケテ容易ナラシメタル者ナ
リ
 第四百十八條 囚徒ヲ看守シ又ハ護送スル者

付セラレノ附加刑タル
等ノ附加刑タル
破テタルツオコナ

○違背
私ニ軍用ノ銃

破云々ニ陸海
軍ニ用ユルテ

ツホウマクイホ
ノ類ヲ造リ又

ハ所持
スル罪

○特別
ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁

錮ニ處ス

前條及ヒ本條ノ犯人其刑ヲ執行スルノ後更ニ公

權ヲ剝奪シ又ハ停止シ又ハ監視ノ殘期ヲ受ケシ

ムルハ本條ノ罰金ヲ附加スルト資力ナキ者トス別

加ノ罰金ナシコノ於テモ囚徒ニ罰金ヲ再ヒ處決スルハ附

破裂質ハ一キ性
破裂質物ト云

モテユルヘシ
トシユルヘシ

○供ス

ハ所
スル罪

○特別

ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁

錮ニ處ス

前條及ヒ本條ノ犯人其刑ヲ執行スルノ後更ニ公

權ヲ剝奪シ又ハ停止シ又ハ監視ノ殘期ヲ受ケシ

ムルハ本條ノ罰金ヲ附加スルト資力ナキ者トス別

加ノ罰金ナシコノ於テモ囚徒ニ罰金ヲ再ヒ處決スルハ附

破裂質ハ一キ性
破裂質物ト云

モテユルヘシ
トシユルヘシ

○供ス

ハ所
スル罪

○特別

ノ親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 附加刑ノ執行ヲ遁ルノ罪

第一百五十四條 公權ヲ剝奪セラレ又ハ公權ヲ

停止セラレタル者私ニ其權ヲ行ヒタル時ハ一

月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス

第一百五十五條 監視ニ付セラレタル者其規則

ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁

錮ニ處ス

前條及ヒ本條ノ犯人其刑ヲ執行スルノ後更ニ公

權ヲ剝奪シ又ハ停止シ又ハ監視ノ殘期ヲ受ケシ

ムルハ本條ノ罰金ヲ附加スルト資力ナキ者トス別

加ノ罰金ナシコノ於テモ囚徒ニ罰金ヲ再ヒ處決スルハ附

破裂質ハ一キ性
破裂質物ト云

モテユルヘシ
トシユルヘシ

○供ス

ハ所
スル罪

○特別

ニ違背シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁

錮ニ處ス

前條及ヒ本條ノ犯人其刑ヲ執行スルノ後更ニ公

權ヲ剝奪シ又ハ停止シ又ハ監視ノ殘期ヲ受ケシ

ムルハ本條ノ罰金ヲ附加スルト資力ナキ者トス別

加ノ罰金ナシコノ於テモ囚徒ニ罰金ヲ再ヒ處決スルハ附

破裂質ハ一キ性
破裂質物ト云

モテユルヘシ
トシユルヘシ

○供ス

ハ所
スル罪

○輸入 外ノ地
クニナル ○販賣
職工雇人
ハレビト ○
正犯ノ使令
カハレニツ ○認
カハレニツ ○認
可ケヘユルシノ
ウケ ○單
往來通信ヲ害
スル罪 郵便電
瀛車等ノ又ハキ
タヨリスサマキ
物件ヲサマキ

出ス一能ハサル者
多ケレハナリ
第一百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ
犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スル一ヲ
得ス
第五節 私ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ
及ヒ所有スル罪
軍用ノ銃砲彈藥トハ陸海軍ニ於テ特別ニ其制法
ヲ定メ專ハテ軍用ニ供ス可キ者ナリ
第一百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得ス
シテ陸海軍ノ用ニ供スル銃砲彈藥其他破裂質
ノ物品ヲ製造シタル者ハ二月以上二年以下ノ
重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附
加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ○前項ノ物品ヲ

害チテ一般ノ
橋梁ハ和名抄ニハ
獨梁ハ和名抄ニハ
小ナトアリ橋ノ
シルヘ河溝ハカ
ルナリ河ハ大ナ
川ハ港埠ナ
ト偽計ヲ
○威力ヲ
阻止ム
○條線ヲ引ク
○電氣ヲ不

私ニ販賣シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁
錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第百五十八條 前條ノ罪ヲ犯スル雖モ職工又
ハ雇人ニシテ止マ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ
各本刑ニ照シ二等ヲ減ス
第百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未
ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス
第百六十條 第百五十七條ニ記載シタル物品
ヲ私ニ所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ
罰金ニ處ス
第百五十七條ニ記載シタル物品ハ一般ノ危害ニ
係ルハ人民私ニ所有スルヲ許サノ之ヲ所有
スル者ハ即本條ノ罰金ヲ科セラル其他陸海軍ノ
用供セサル兵器ト雖モ官ノ認可ヲ得テ所有スル

シル
○損壞
○標識
○危險ナル
障礙ヲチブシテ
ゲルマタ浮標
船船ガ水ノ中
ニアルイハニ
シタルニウケメ
キナクウ
○航海
○偽詐
ノ標識ヲ點示
イッハチスルメ

キ物ヲ私ニ所有シタル時ハ其規則ニ從テ之ヲ沒
收シ本條ノ刑ヲ以テ論スルノ限ニ非サルナリ
第百六十一條 第百五十七條ニ記載シタル物
品ノ製造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供
ス可キ者ハ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス
本條ハ總則第四十三條ニ記載シタル別ニ沒收ノ
例ヲ定メタルモノナリ
第六節 往來通信ヲ妨害スル罪
第百六十二條 道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ
往來ヲ妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重
禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加
ス
第百六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨
害シ若クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ

○其事務ニ關スル鐵道電信其他
 前條ノ事ヲ々々
 云○顛覆ガクツ
 ス○覆沒ガクツ
 ツシメハシ○安
 居風雨寒濕ノ
 漫リニ出入テ
 ルヲ禁シテ
 ヤスラカニ○
 クラシカニ○
 許諾シタル○
 マシヒ○人ノ
 權利己ニ一家

第七十八
 第一百六十四條 電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ
 條線ヲ切斷シ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月
 以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓
 以下ノ罰金ヲ附加ス○若シ器械柱木條線ヲ損
 壞シテ電信ノ妨害ヲ爲スト雖モ不通ニ至ラサ
 ル時ハ一等ヲ減ス
 本條ノ外電信ノ犯則アレハ電信條例ニ依テ處分
 スルモノナリ
 第一百六十五條 氣車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵
 道及ヒ其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲
 シタル者ハ重懲役ニ處ス
 本條若シ氣車ヲ顛覆シ又ハ人ヲ死ニ致シタル時
 ハ第一百六十九條ニ從フ其他鐵道ニ係ル犯則ハ鐵
 道罰則ニ依テ處分
 スルモノナリ

ハ其人ガノ出
 入タルナリ
 權アタル家ノ
 ○邸宅クハ
 ノ内ヲ及ヒ家
 建造物ミナラ
 タズ總テ○過
 錯ガヒ○訪問
 タル○門戸牆
 壁イモノ類ナ
 ○踰越損壞
 又ハヤブ○鎖
 リテ入ル○錠
 鑰マシユウ○兇

第七十九
 第一百六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈
 臺浮標其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞
 シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦前條ニ
 同シ
 第一百六十七條 前數ニ記載シタル罪其事務ニ
 關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各
 本刑ニ照シ一等ヲ加フ
 第一百六十八條 第一百六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ
 人ヲ殺傷シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ
 重キニ從テ處斷ス
 本條ノ如キ場合ニハ第二百九十九條以下ノ各條
 ニ照合シテ若シ創傷ノ罪重キトキハ夫レヲ以テ處
 斷シ又傷ヲ爲シ休業ノ時間二十日ニ至ラサレハ
 仍ホ第一百六十二條ニ依リ處スルノ類ヲ云フ

○要求ムルト
 ○故意トワザ
 ○編入イッレミ
 ○毀傷
 ヤブケリキ
 ○作
 爲ヘコシラ
 ○免
 役徵兵ニ入ル
 ○囑託
 ○徵募
 ○徵兵令
 年十月第十四
 六號ヲ以テ公
 布セ
 ○義務
 ツハナメラヌ
 ○種

第七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

第七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ唯故ナクシテ出兵ヲ肯セサルノ刑ナリ其兇徒ヲ助クシテ爲メ故意ヲ以テ兵ヲ出サ、ナル時ハ兇徒ノ共犯人タルヲ免カレハ本條ナル以論ズ可カラズ其要求スヘキ時ニ當テ要求セサル官吏ノ罰則ハ第二百七十四條ニ出ツ通シ見ル可シ

々ノ詐偽ニキ
 オツツケ又ハ
 ナリ又ハツキ
 ガイナル
 ノリナル
 家舍ノ密家ナリ
 分者
 學者
 折一物
 ○鑑定
 遵奉
 ○蔑視
 ルス
 ○一枝ニ長

第七十八條 陸海軍ノ徵兵ニ編入セララル可キ者身體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲シ其他詐偽ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス○若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徵募ニ應セシメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徵募ニ應シタル者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス

陸軍徵兵令ノ年令ニ當リ又ハ海軍ヨリ臨時徵兵ヲ爲ス時其兵籍ニ編入セラレハ兵事ニ服役スルハ日本國民ノ必ス避ク可カラサル義務ナリ然ルニ種々ノ詐偽ヲ以テ免役ヲ得タル時ハ乃チ國兵ノ員數ヲ缺キ國力ヲ弱クス故ニ本條ノ刑ヲ科シ其刑期滿限ノ後仍ホ兵籍ニ編入ス可キ者トス尙第ニ百十六條見合セ

スルイナゲイ
 ○消滅スウナケ
 ○信用ヲ害ス
 ル罪人々カ信
 テ信セザラシ
 ツムル○天賦ノ
 良心賜リシヨリ
 キロ○貨幣ヲ
 偽造スル罪ニ
 ガ子ナルコ○行
 シラヘル○縁
 使ツカ○邊
 ナ剪錯シフ知

第百七十九條 醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ解剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス
官署ノ命令ハ人民ノ義務ニ於テ必ラス之ヲ遵奉ス可シ故ニ其命令ヲ肯セサル者ハ即チ官署ヲ蔑視シ其義務ヲ行フヲ拒ム者トシ之ヲ罰スルナリ
 第百八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スルコトヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ亦前條ニ同シ
前條ハ二技ニ長スル者ヲ云ヒ本條ハ人民一般ニ就テ其事件ヲ知り得タル者ヲ云フナリ
 第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅ノ方法ヲ陳述スルコトヲ命セラレタ

リケツリテニ切
 取○字樣ヲ
 挑剗シ文字ケ
 リッ○成片ヲ補
 轉シ筆畫ヲ描
 改シ文字ノ片
 ナヒ又ハクワ
 ナ書カヘルク
 ○品位ガシラナ

ル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス○獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス

第四章

信用ヲ害スル罪

信ハ天賦ノ良心ニシテ人民ノ平和ヲ保ツ根元ナリ故ニ之ヲ害スルノ大ナル者ハ法律ニ於テ之ヲ罰ス其信用ヲ損スルコト詐僞ヨリ甚シキハナシ詐僞ハ偽造貨幣ヲ以テ最モ重シトス故ニ偽造貨幣ノ罪ヲ以テ此章

第一節

貨幣ヲ偽造スル罪

第百八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シテ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス○若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス
變造トハ舊律ニ所謂金銀貨幣ノ邊縁ヲ剪錯シ紙幣ノ字樣ヲ挑剗シ成片ヲ補轉シ筆畫ヲ描改シ眞

○着手
○雜役ノイロシタ

○正犯ノ

使令本人ノ云

○補助ステケダ

○桃水ハミコヅチ

○打炭キリ

○曝ノ字常ニハ

○モ茲テハ「ボク」

○ト讀ムガヨ

○房屋給與カスチ

○内國ニ輸

ハナ以テ偽ニ作リ利ヲ取リ行使スル者ナリ偽造モ
政府ノ權ヲ以テ造トス
ルモノハ總テ偽造トス

第百八十三條 内國ニ於テ通用スル外國ノ金

銀貨ヲ偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處

ス○若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五

年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙

幣ヲ偽造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内

外國ノ區別ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行

使シタル者ハ輕懲役ニ處ス○若シ變造シテ行

使シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處

入外國ニテ製
ルツ
テ本國ニ
テ

ス
第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽
造變造己ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ

照シ一等ヲ減シ其未タ成ラサル者ハ二等ヲ減

ス○若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ着手セサ

ル者ハ各三等ヲ減ス

第百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知

テ雇ヲ受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯

人ノ受ク可キ刑ニ照シ各一等ヲ減ス○若シ職

工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ

刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

本條ハ偽造變造ノ職工其他雜役ニ供シタル者ノ

罪ヲ云總則ニ照セハ正犯ト同刑ニ處ス可キ者ナ

レトモ職工雜役者ハ給料ノ爲メニ正犯ノ使令ニ
從ヒ服役スル者ナレハ其情正犯ヨリ輕シ故ニ職
工ハ正犯ノ刑ヨリ一等ヲ減ス雜役者ハ職工ヲ補
助シ其指揮ニ從テ挑水打炭乾曝等ノ雜事ニ役ス
ル者ナレハ其情職工ヨリ輕シ故ニ職工ハ正犯ノ
刑ヨリ一等ヲ減シ雜役者ハ職工ノ刑ヨリ一等又
ハ二等ヲ減スルナリ

第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知
テ房屋ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ
照シ二等ヲ減ス

第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入
シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

第百九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ取
受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シ
タル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ス○其未タ行使

セサル者ハ各三等ヲ減ス

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ
輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監
視ニ付ス

第百九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取
受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首
シタル時ハ本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監
視ニ付ス○若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタ
ル者未タ行使セサル前ニ於テ自首シタル時ハ
本刑ヲ免ス

○價額二倍使其
ニヒテダカノ二
ニテダカノ二
十圓ツカヘハ二
十圓ツカヘハ二

若シ偽造變造ノ貨幣ヲ行使シタル後官署ニ自首
シタル者ハ總則第八十五條ニ照ラシ止マ一等ヲ
減スルノミ本條ノ監視ハ重罪トモ亦輕罪トモ爲
スコトヲ得ス

ナカハハ六十圓
ナリ然シナカ
ラ罰金二圓以
下ニシダス
ヲ得ストア
ハタトヒ二十
錢ノニセチ
カヒタリトモ
矢張二圓ノ罰
金ニ科セラレ
リ

○御璽天子ノ
テ天皇御印ニ
璽ト書ス○國
璽大國ノ印ニ
ト書日本國璽
○各官署

第百九十三條 貨幣ヲ取受スル後ニ於テ偽造
又ハ變造ナルヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其
價額ニ倍ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下ニ
降スヲ得ス

第百九十四條 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽
ヲ使用シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第二節 官印ヲ偽造スル罪

第百九十五條 各官署ノ印ヲ偽造シ又ハ其偽
印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

夫々ノヤ○產
クシヨ
物商品國々
ナハハシアキ
押用ヲユル○
記號印章品々
ルシニ○物
件モノ○影蹟
ソシテアリ
各種ノ印紙界
紙券印紙
印紙券
紙ノ認用也

第百九十六條 產物商品等ニ押用スル官ノ記
號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ
輕懲役ニ處ス○書籍什物等ニ押用スル官ノ記
號印章ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ
一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第百九十七條 御璽國璽官印記號印章ノ影蹟
ヲ盜用シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ
刑ニ照シ各一等ヲ減ス○若シ監守者自ラ犯シ
タル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

第百九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界

セサル前ハ其罪ノ成立ツ可キ者ナケ
レハ從テ罪ノ問フ可キ所ナキ故ナリ

第二百四條 公債證書地券其他官吏ノ公證シ
タル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタ
ル者ハ輕懲役ニ處ス○若シ無記名ノ公債證書
ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

無記名ノ公債證書 起業公債ハ其所有者ノ氏名ヲ
記ルサス何人ノ所有タルヲ知ル可カラサル程
ノモノナレハ殆シト紙幣ノ性質ニ至テハ其害直ニ
シ若クハ變換シテ使用スルニ至テハ其害直ニ
一般ニ及ス故ニ一等ヲ加
ヘテ重懲役ニ處スルナリ

○官吏其管掌
ニ係ル役人
トナスベキヤ
ト云フヲ
○盜用
モヌチユミ

第二百五條 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ
又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例
ニ照シ各一等ヲ加フ○其文書ヲ毀棄シタル者
亦同シ

第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印
ヲ偽造シ又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本
條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

官印ヲ押シタル官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ
併チ官印ヲ偽造シ或ハ盜用シタル時ヲ云

第二百七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕
ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以
下ノ監視ニ付ス

減輕ニ因テトハ法律ニ於テ減輕ス
可時ヲ云フ總則ニ及リ見ルヘシ

第四節 私印私書ヲ偽造スル

此節モ前節ノ如ク盜用變換増減等ヲ包括ス各條
ヲ見テ知ルヘシ其毀棄ハ前節ト異ナリ第四百二
十四條ニ
出テタリ

第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタ

○私印 人々所
持スル私書
實印ノ私書
一人ノ作用スル
一切ノ書類

言人免許狀其
他總之免許
云フ○鑑札馬
賣買免許鑑札
證券印紙紙札
賣捌鑑札郵便
切手總テ營業
其他總テ營業
鑑札ニシテ皆
官ヨリ鑑札ス
ル所ノ鑑札ス
云○疾病證書
種痘天然痘證
診斷書傳染病
全快證書ノ類
ヲ總テ云フ類
○屬籍華士族
○身分戶主又
長男次男ト云
フ類ナリト云

行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ
處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但シ
官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ
各本ニ照シテ處斷ス
官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ官印ヲ押用セザ
ハ本條ノ罪科ナレモ若シ夫レ等ヲ偽造スルモ
モ官印ヲ偽造シ或ハ盜用シタルトキハ前ノ官印
ヲ偽造スル罪ノ各本條ニ照シテ罰スルナリ茲ニ
重キニ從テ處斷スト言ハサルハ官印ヲ偽
造セシ罪ハ各條皆本條ヨリ重ケレハナリ
第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐
偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五
日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十
圓以下ノ罰金ヲ附加ス○官吏情ヲ知テ其免狀
鑑ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

○官吏情ヲ知
テ云々其詐リ
ナカラ免狀鑑
札ヲサゲツカ
ルヲシ云○囑託
ミダノ
○偽證ノ罪判
所へ證據人ト
シテ呼出サント
シテ相違ナキ旨
ヲ相違ナキ旨
詐リテ云ヒシ
ナリ罪○曲庇
重キナ罪無ト
證シ有罪ナキ
罪ノ被ヤウニ
ヒテ告人ニ云

第二百十五條 公務ヲ免ルヘキ爲メ醫師ノ氏
名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者
ハ自己ノ爲ニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス一
月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十
圓以下ノ罰金ヲ附加ス○醫師囑託ヲ受ケテ其
詐偽ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ
本條ハ詐偽ノ所爲ヲ爲シテ公務ヲ免ントスル
罪ヲ云其詐偽ノ所業ナクシテ公務ヲ免ントスル
者ハ第七十九條第八十條ニ照シテ處斷スルハ勿
論ナリ
第二百十六條 陸海軍ノ徵兵ヲ免ル可キ爲メ
疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託
ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前條
ノ例ニ照シテ各一等ヲ加フ

罪ヲマケフオ
 掩蔽シテホ
 ○審斷ラツカマニビ
 請求トコメヒモ
 事實斷定カコト
 ○義務原告人
 正廉直マツノス
 ○確實ツイ

第二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換シテ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ

第六節 偽證ノ罪

第二百十八條 刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル爲メ事實ヲ掩蔽シテ偽證ヲ爲シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス

刑事民事商事其他ノ事ニテ裁判審斷ニ付要用ナルトキ又ハ原告被告ノ請求ニ因リ事實斷定ノ爲メニ證人ヲ呼出スル時ハ裁判上大ニ其時ニ於テ證人詐僞ノ義務ヲ免ルハ裁上ハ其時ニ於テ證人詐僞ノ義務ニ免ルカラスアリ或ハ法律左ノ區別ニ從ヒテ其害實ニ少ナルカラス故ニ法律左ノ區別ニ從ヒテ其處分法定ナル尤證人タル者ハ公正廉直ニシテ其言ノ確實ナルヲ要スル故ニ或ハ證人タルヲ其許サ、ル者アリ治罪法第百八十一條第百八十二條

ナキリ ○正當
 ○宣誓
 ○陷害罪
 ○負

一 重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二 輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三 違警罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處斷ス

第二百十九條 偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免カレタル時ハ偽證ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

前條ハ裁判所ニ於テ其證ノ正實ナルヲ宣誓シテ詐僞ヲ申立タルノミノ罪ナリ本條ハ其偽證シ

タルヲ以テ被告人正ニ受ク可キ罪ヨリ輕ク或ハ無罪トナリタル時ハ前條ノ各頂ニ照シ加等ス可キヲ云

第二百二十條 被告人ヲ陷害スル爲メ偽證ヲ爲シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處斷

本條ハ前二條ト全ク反シテ被告人ノ罪輕キモノヲ重罪トナル可キ様ニ證ヲ立テ無罪ナルヲ有罪ノヤウニ證ヲ立テタルヲ云フ其情前條被告人ヲ曲庇スルヨリ復カニ惡ム可ク其害亦甚シ故ニ法律上區別ヲ分ツナリ

- 一 重罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- 二 輕罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○反坐 偽證
 者罪ニ陷ラレシセ
 後其罪ニ陥リテ
 ナ申述シハ
 ラハ申述シハ
 偽證セシ者ハ
 反テ罪ヲ申付
 トルハ
 云フナリ
 發覺
 ンアラハ

○經過
サス
リギ

圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三 違警罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百二十一條 偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽證者ヲ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス

○其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得但シ減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スルヲ得ス

○有心故造
 ヲモトモ
 死刑ニ被
 ヲ告人ヲ
 ヲ陥スル
 ヲコトヲ
 ヲシテハ
 ヲテハコ
 ヲシテハ
 ナリ

本條前項ハ被告人陷害セラレ其刑ヲ執行シテ未
 タ幾日モ非サルニ其偽證ノ事發覺シタル時ハ其
 陷害ノ刑前條ノ偽證ノ罪ヨリスルヲ得然レ其反
 例ハ五年以下ノ重罪ニ陷ラシメテ禁獄ナルニ執
 上五年以下ノ重罪ニ鋼云々トメアリシ者ハ二年以
 罪ハ之ヨリ輕シ故ニ前條第一項ニ照ラシテ處分セ
 ノ罪ヨリ輕シ故ニ前條第一項ニ照ラシテ處分セ
 サル可カラス後項ハ偽證セラレシ者ハ十二年ノ有
 内ニ於テ發覺セシテハ例ハ十二年ノ有期徒
 刑ニ處セラレ七年以上然テ發覺シタル時ハ有期徒
 刑ニ反坐スルハ當然ナリト雖モ裁判官ハ偽證者
 シテ以下ハ前項ノ意ト異ナルヲ得可シ但減
 減ス○若シ被告人ヲ死ニ陷ルノ目的ヲ以テ
 セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑
 ナ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ
 減ス○若シ被告人ヲ死ニ陷ルノ目的ヲ以テ

○民事人ノ相
 屬スル民法ノ○
 商事商人ノ相
 關スル○
 行政裁判ノ關
 係ニ屬スル○
 行政裁判ノ關
 係ニ屬スル○
 行政裁判ノ關
 係ニ屬スル○
 行政裁判ノ關
 係ニ屬スル○

偽證ヲ爲シタル時ハ死刑ニ反坐スル其未タ刑
 ナ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ
 減ス
 本條前項ハ其意ニ非ラスシテ偽證ノ爲メ遂ニ死
 刑ニ陷リシヲ云ヒ後項ハ所謂有心故造ニシテ
 被告人ヲ死ニ陷ルハ此輕重アルハ實ニ理ノ當然ナ
 リ
 第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關
 シテ偽證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ
 重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附
 加ス
 第二百二十四條 鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所
 ニ呼出サレタル者詐偽ノ陳述ヲ爲シタル時ハ

嫡子庶子婦女

○官職役名職

太政大臣參議

司法卿文武卿

ノト云フ位階

○服飾カ衣服

ニテ役モユリ

○徽章紋ノ御

○僭用ヲナシ

若ガ用ユル朝

憲國ノナシ

亂スミダ

加ス○若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者

ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

前項ハ増減シタル度量衡ヲ所有シタル者ニ刑
ヲ云ヒ後項ハソレヲ以テ利ヲ貪リ取タル者ヲ云
フナリ詐欺取財ハ第三百

第九十條以下ニアリ

第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽

造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ

刑ニ照シ各一等ヲ減ス

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ

以テ其屬籍身分氏名年齢職業ヲ詐稱シタル者

ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ

大勢ニテ
エシム

服飾徽章若クハ内外國ノ勳章ヲ僭用シタル者
ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以
上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ意ハ官職位階ナキニアリト詐稱シ又ハ官
ノ服飾徽章若クハ内外國ノ勳章ヲ服用ス可キ權
利ナキニ之ヲ僭用シ及ヒ其官職位階其他ノモノ
下等ナルニ上等ト詐稱シ及ヒ僭用シタルヲ云フ
其輕禁錮ニ處スル者ハ前條ノ犯ス所自ラ輕ク本
條ハ少ク憲ヲ紊亂スル所アルニ似タルハナリ

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其

數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁

錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ

又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以

○結局マツリ

上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前條第二百三十三條ヨリ本條ニ至ルマテ皆公選ノ投票ヲ詐偽スル者ニシテ其第二百三十三條ハ自己ノ爲メ若シハ他人ノ爲メニスルヲ論セズ一人民唯々詐偽シタルノミノ罪其第二百三十四條

ハ賄賂ヲ受ケテ爲シタル罪故ニ前條ヨリ重シ其第二百三十五條ハ投票ノ正否及ヒ員數ヲ檢査スル職ニ在リナガラシ犯シタル罪故ニ前條ヨリ亦重シ本條ハ其結ナシニ被選人ノ名ヲ定ムル調書ヲ造ル職ナリ故ニ此者ノ犯セ

シ罪ハ亦前條ヨリ重シ

第五章 健康ヲ害スル罪

此章ニ記載スル健康ヲ害スル罪トハ一般ノ人民ニ對シテノ罪ヲ云フ其一人或ハ數人ニ對シテノ罪ハ第三編ニ出タリ

第一節 阿片烟ニ關スル罪

第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ販賣シタル者ハ輕懲役ニ處ス

○健康 コヤカ
ト訓シ 康ハヤ
スシト 訓ス俗
ニ云フ 其ヤナ
ト云フ 其ソナ
ソコナフ テヨ
ハコナル ナ健康
ヲ害ス ○阿片烟
ルト云 ○阿片烟
單ニ阿片トナリ
フシハ藥用トニ
供シ阿片烟トニ
云フハ吸食
ニ供スル者ナ

タリ俗ニアヘン

○器具ノキセル

○税關官吏交易

場ニ出張シタル官吏

○房屋ヲ給與

イエチカマ

引誘ス

○寢所

○蔓延

受寄

第二百三十九條 税關官吏情ヲ知テ阿片烟及

ヒ其器具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ

照シ各一等ヲ加フ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ

給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス○人ヲ引

誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

阿片烟ヲ吸食スルハ大低寢所ニ就キテ之ヲ吸食

シナガラ醉眠スルモノナリ故ニ之カ房屋ヲ設ケ

テ人ニ吸食セシメタル者ハ刑ヲ加フ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二

年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

阿片烟ノ害タル者人ノ知ル處ナレハ註セス其之

ヲ吸食シタルノミヲ以テ本條ノ如ク刑スル者ハ

其蔓延セシメタル者ハ刑ヲ加フ

恐ルレハナリ

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所

有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ

重禁錮ニ處ス

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

衆人同シク飲シテ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シテ之ヲ

用ルルヲ能ハサル罪ナリ

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚

穢シ因テ之ヲ用フルヲ能ハサルニ至ラシメタ

ル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二

圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ

用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一

○飲料ノ淨水
ナ汚穢スル罪
シタル罪ナリ
○水質ヲ變ス
水ノ性質ヲカ
ヘ功能ヲアシ
スラ
○腐敗

規則ニ違背シテ獸類ヲ他所ニ出シタル者ハ十日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪

○危害品ツハスレベキモノハゲシ他スベキモノハゲシ他スベキモノハゲシ他スベキモノハゲシ他

此等ノ物品ハ製造又ハ販賣ニ付キ官ヨリ規則ヲ布告シ置ク者ナリ其規則ニ從ハサル時ノ處分法ヲ云

健康ヲ害ス可キ物品ニホシキ又ハ毒質ノ觸物ニテ人ノ其香トゾトクモ時ハ亦健康ノ害トナル物品

第二百五十條 官許ヲ得シテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス○若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

○創設トリタマフ過失殺傷ヤアマツテ人ヲ殺シ又ハキツツケル○藥劑リクス

第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シテ各一等ヲ減ス

○混和マゼ○採色ドイロ

前二條ノ外健康ヲ害スル罪ニ最モ輕キモノアリ違警罪第四百二十五條第四百二十六條ヲ見合ス

第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

過失殺傷ノ本條ハ第三百十七條以下ヲ云フ尤故意ヲ以テ人ヲ疾病死傷ニ至シタル者ハ各本條ニ從ナリ

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥

劑ヲ販賣スル罪

健康ヲ害ス可キ飲食物トハ毒質物ヲ飲食物ニ混和シテ販賣スルヲ云フ(例ヘハ採色ヲナスニ間々毒質ノ物ヲ使ヒシテアリ前年政府ノ禁令アリシ類)又性質毒ヲ含有セサルモノモ敗腐シタル時ハ亦健康ヲ害スコレヲハ違警罪ノ本條ニ於テ罰ス其藥劑ハ賣藥規則毒藥劇藥取扱規則水製造人並發賣人取締規則違背シ他諸々ノ規則ニ在リ藥劑ヲ其規則ニ違背シ販賣セシ者ヲ云フ

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ

飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三

十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ

販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ毒藥劇藥ヲ其規則ニ背キ販賣セシ時ノミヲ云フ其人ヲ殺スノ情ヲ知り及ヒ人ヲ疾苦セシ

○劇藥^{ダキヤク}ハ^{キク}グ^スシ
○毒藥^{ドクヤク}ニ^ツグ^スシ
○疾苦^{ダク}ル^ヤシ^ミム^ク

○有心故造ニ

係ル者ハ云々
人ヲ殺シ或ハ
ヤマヒニナル
ヤウニ豫テ心
ニテ前二條ノ罪
ヲ犯セシ時ハ
第百九十二條
以下ニ照シテ
罰スルヲ

ムルノ情ヲ知テ販賣シタル者ハ固ヨリ本條トハ別ナリ故ニ情ヲ知テ爲シタル者ハ總則第百九條ニ依リ從犯トナシ人ヲ殺スヲ知リテ販賣シタル者ハ第百九十三條ノ從犯ヲ以テ論シ人ヲ疾苦セシムルノ情ヲ知リテ販賣セシ者ハ第百七條ノ從犯ト爲シテ論スル者ト知ル可シ

第二百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ

疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條

ニ照シ重キニ從テ處斷ス

過失殺傷ノ各本條ト前條ト比較シテ重キ者ヲ以テ處斷スルヲナリ然レトモ有心故造ニ係ル者ハ各其本法ニ依ルナリ

第六節

私ニ醫業ヲ爲ス罪

醫道ノ關スル所人ノ死生ニ在リ至テ大ナリ故ニ官之カ試験ヲナシテ免狀ヲ與ヘシ者ニ非レハ行フコトヲ許サス故ニ私ニ業ヲ爲ス者アレハ左ノ二條ニ從テ之ヲ罰スルナリ

第二百五十六條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ爲シ

○治療ノ方法

ヲ誤又ハ切斷
法ヲ誤リテ人
ヲ殺シ或ハ傷
ル者ナリ○風

儀習俗ヲ害ス

土地ノ人氣ヲ

○猥褻ガマシ

トキコ○冊子圖

畫其他猥褻ノ

物品紙其他ミ

公然陳列見ル

タル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤

リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各

本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

第六章 風俗ヲ害スル罪

風儀習俗ヲ害スル罪ナリ

第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル

者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖畫其他

猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ

四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ

可キ所ヘナラ

○賭場ヲバク

博徒ヲバク

○招結ヲカ

テシタ

○財物

ヲ賭シテ云々

金錢ヲカケテ

テ者○器具

ノ類○醜集

メツ○富籤

業ハツテカ

博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重

禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百六十一條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲

シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ

五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知

テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物ヲ賭ス

ル者ハ此限ニ在ラス○賭博ノ器具財物其現場

ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス

前條ノ房屋ヲ給與シタル者ハ本條ノ房屋ヲ給與シ

タルト固ヨリ別ナリ故ニ前條ニハ開張ト云ヒ本

條ニハ給與ト云フ前條ハ待合茶屋、船宿、旅店、賣

屋、等ニテ賃料ヲ得テ其場所ヲ賃セシテ本條

如キコ
ナリキ
○禮拜

ナ
コ
シ
ロ

所
人
ノ
コ
ウ
ヤ
マ

第二百六十二條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利

○風習ハナシラ

益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上

併スアルハ○阻止

六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下

メト
メ
○死屍

ノ罰金ヲ附加ス

掘
リ
ハ
カ
ナ
ホ
○

第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ

侮辱
ド
ア
ナ
○絶

對シ公然不敬ノ所爲アル者ハ二圓以上二十圓

無
子
孫
ガ
シ
ト
ニ

以下ノ罰金ニ處ス○若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害

○埋葬

シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

○墳墓ヲ發掘

ニ於テモ亦尊敬セサル可カラサルナリ故ニ公然

不敬ノ所爲アルトキハ

之ヲ罰ス又説教及ヒ禮拜ハ一人或ハ數人ノ爲ニ

敬禮スルヲ妨害シテ人心ノ良善トナラントス

敬禮スルヲ妨害シテ人心ノ良善トナラントス

ル根元ヲ阻止スル者ニシテ前項ヨリ重シ故ニ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘ス

ル罪

此章ハ死者ニ對シ侮辱ヲ加ヘ併シテ其子孫タル者ヲ辱カシムル罪ナリ但其子孫已ニ絶無スト雖

第二百六十四條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓

以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○棺槨

第二百六十五條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死

○商業及ヒ農

屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁

工ノ業ヲ妨害

錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

スル百姓職人

○因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以

ヤノマシスル罪ナシ

上ノ罰金ヲ附加ス

○偽計又ハ
威力ワルダクシ
又ハオドシ

下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金
ヲ附加ス

第二百六十六條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サ
ントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照
シテ處斷ス

○需用ニ缺ク

第八章

商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

可カラサル日
必ラスイルベ
キ品物穀類味
鹽醬油茶○以
外ノ物品炭薪
他ノ○糶賣
物○入札
○入札ホウヒケ

第二百六十七條 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其
他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ賣買
ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮
ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
○前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害
シタル者ハ一等ヲ減ス

又ハウリハ
ヒノ入札等ヲ
フ云○雇人ハヤ
トビ○短縮メナ
ル

本條ノ罪ヲ犯ス者アレハ其關係獨リ商人ノミニ
止ラス衆人一般ノ妨害トナル者ナリ後項ハ其害
同シナレ故ニ衆人ノ食用品ニアラサレハ害スル
ト少ナリ故ニ一等ヲ減シテ二十三日以上四月十
五日以下ノ重禁錮二圓二十五錢以上二十二圓五
十錢以下ノ罰金ノ刑ニ處セラル、ナリ
第二百六十八條 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又
ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下
ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

本條ノ罪ハ其害公衆一般ニ關セサレハ前條ノ罪
ヨリ輕キナリ

第二百六十九條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ
業ヲ妨害シタル者ハ亦前條ニ同シ
第二百七十條 農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ
又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ

他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ意ハ雇人休業シテ其事ヲ爲サス(賃錢ヲ増給セシムル爲メ)或ハ工作ノ時間ヲ短縮セシメ又ハ暇日ヲ増サシメ或ハ人員ヲ増加セシメ(農工業ノ景況ヲ變セシムル爲ナリ)又ハ他ノ雇人ニ對シ妨害ヲナセシ

第二百七十一條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ亦前條ニ同シ

前條ハ雇人ヨリ雇主ニ對セシ時ノ罪本條ハ雇主ヨリ雇人ニ對シテ前條ノ如キ罪ヲ犯セシ時ヲ云フ

○虚偽ノ風説
ヲ流布人己利ヲ一

得ノトナシキテ一

ナイスヒ○價直

ヒ又ハ子ダ

○昂低

○瀆職

○褒瀆

○自由ヲ束縛

○權利ヲ妨

害タル分ヲ守民

第二百七十二條 虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人ノ需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九章 官吏瀆職ノ罪

此章ハ官吏ノ職務ヲ褻瀆セシ者ヲ罪スルモノニシテ即官吏タル者其職務ヲ行ハス又ハ人民ノ自由ヲ束縛シ權利ヲ妨害シ及ヒ贓罪ヲ犯ス等ナリ

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

第二百七十三條 官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セス又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

法律規則其他人民ノ必ス知ラザル可カラザル布達等ハ官吏ノ職掌ニ於テ必ス人民ニ知ラシメザ

スルヲナリヤマ
○管掌自分カノ
キベ○責任ニ身
シカ、リ

○要求ムルト
權アル官吏地方

長官及ヒ檢
事等ヲ云フ○

騷擾ギサハ○鎮
撫メシツ○兵權

力ノ○違背ム
○參看ハミセヤ

ル可カラザルナリ故ニ部區戸長ニ至ルマテ荷モ
其責任アル者ハ之カ方法ヲ盡シ一般人民ニ領知
セシム可シ若シ之ヲ公布施行セサル者ハ法律ニ本
官吏ノ公布施行スルヲ妨害シタル者ハ法律ニ本
條アリテ之ヲ
罰スルナリ

第二百七十四條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用
スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮

撫ス可キ時ニ當リ其處分ヲ爲サ、ル者ハ三月

以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓

以下ノ罰金ヲ附加ス
其要求ヲ受ケテ兵隊ヲ出サシメサル海陸軍將校
タル者ノ罰則ハ第七十七條ニ在リ通ハシ見ル

第二百七十五條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ
爲シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ

○生産ヲ買入

レ製作ヲ加他
リ賣出シタル物

形ヲ加へ又ハ
ハ増減シテ用

トコ○礦山銀金
銅鉄其他金屬

論石炭或ハ石
馬ノ出ル山石

處ス

參看ノ爲メ明治八年四月第六十五號ヲ以テ布達
セラレタル所ノ官吏ノ商業ヲ禁セラレシ公布
記載ス

第一條 凡ソ官吏タル者並ニ其家族トモ他ノ物
品ヲ買入レ之ヲ餘人ニ賣以テ利ヲ販賣シテ利ヲ

獲ル等ノ業一切禁止ノ事加へ之ヲ販賣シテ利ヲ
區取締役及ヒ等外吏ノ

分ハ此限リニアラス
第二條 官吏ノ家族自己ノ財ヲ以テ商買ノ業ヲ
營マント欲スル者ハ分籍別居ノ上相營ムヘキ事

第三條 左ノ數件ハ商買ノ業ニアラサル但商買同様
ノ店ヲ開クハ不相成候事
一 礦山田地ヲ所有シ其利ヲ獲ル事

一 田地家屋ヲ貸シテ地代宿賃ヲ獲ル事
一 金銀ヲ貸シテ利息ヲ獲ル事
一 所有地ヨリ生スル物産ニ製作ヲ加へ賣拂事

○威權ヲ用ヒ
官ノイコウニ
用ヒテ人民ニ
ムタイニ物事
チナカシメ及
ヒ人民正當ニ
ナシタルヲ
シムルヲ○壓制
ナオシツケス
ルザ

第二節 官吏人民ニ對スル罪

第二百七十六條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシ

テ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權

利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕

禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加

ス

○第二百七十
七條 亂入リウ來

第二百七十七條 人ノ身體財產ヲ妨害スルノ

官吏職務上威權ヲ用ヒ人ヲ捕縛スル任ニ非サル
者ヲシテ強テ之ヲ爲サシメ或ハ議員又ハ戶長ヲ
選舉スル權利ナキ者ヲ行ハシテ強テ之ヲ投票ヲ爲サ
シメ其權利ナキ者ヲ行ハシムル者又ハ酒類受賣
ノ免許ヲ得シ者ノ酒類ヲ賣ル者ノ投票ヲ爲ス者
ヒ戶長ヲ選舉スル權利ノ妨害スル者ノ投票ヲ爲ス者
拒ミ其爲スヘキ權利ヲ妨害スル者ナドスルハ皆
其官ノ威權ヲ以テ人民ヲ壓制スル者ナリ故ニ本
條ヲ以テ之ヲ罰ス人民ノ官吏ニ對スル罪ハ前已
ニ第三百三十九條ニ見ユ

受リケシ又ハ賊セ
入ケタルヲ知ラセ
受ケタルヲ知ラセ
シハザルヲテス
フ云 ○逮捕官吏
ヤメシトリ ○程
式規則ニ治罪法
○監禁拘留ト

○司獄官吏 屋牢
ノ役 ○飲食衣
服ヲ屏去シ 類衣

犯人アルニ當リ豫審判事檢事警察官吏其報告
ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サ、ル者ハ十五
日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十
圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百七十八條 逮捕官吏法律ニ定メタル程

式規則ヲ遵守セスシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ

人ヲ監禁シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重

禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加

ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ

但監禁日數十日ヲ過ル毎ニ一等ヲ加フルトハ不

正ニ人ヲ監禁スルヲ十日以下ナレハ本條ノ刑ヲ

科シ十日以上三月二十日以下ニ至ルハ一等ヲ加
錢以上二十五圓以下ノ罰金ニ處シ監禁スルヲ二
十日以上三十日以下ナレハ二等ヲ加ヘ二十日

食物ヲ取リシノ
クテ飢寒セシ
ムルヲ云フ
○苛刻
ムト云キ

以上四月十五日以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處スルヲ云餘ハ準シテ知ル可シ平人本條ノ如キ罪ヲ犯セシ時ノ刑ハ第三百二十二條ニアリ

第二百七十九條 司獄官吏程式規則ヲ遵守セスシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

○水火震災大水
火事地震天災
等ヲ總テ云フ
○罪狀ヲ陳述
セシムル爲メ

第二百八十條 前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス○因テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

次第ヲ白狀ナ
サシムル爲メ

○暴行
○陵虐
ザ
被
告
人
ハ
三
角
形
ノ
上
ニ
坐
セ
シ
メ
石
ヲ
膝
上
ニ
置
等
ノ
コ
ト

○恐嚇
○詐言
フ
○平穩
○受理
○遷延
ム
ツ
ケ
○遷延
ナ
ガ
シ
シ

平人本條ノ如キ罪ヲ犯セシ場合ハ第三百二十三條ニ照シテ處斷スル也

第二百八十一條 水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ

平人本條ノ罪ヲ犯セシトハ第三百二十五條ヲ以テ罰スルナリ

第二百八十二條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被告
人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ陵虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス○因テ被告人死傷ニ致シタル時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

○ 聽許 ヒマチヒウナ
ユケルルコトキ

被告ノ人ヲ訊問スルハ治罪法ニ於テ恐嚇詐言ヲ用
ユルモ禁スル所也故ニ其職ニ居ル者成ル可キハ
平穩ニシテ白狀セシメザラシキハ拒ク是故ニ本條
ヲ設ケ暴行陵虐ノ所爲アルコトヲ拒ク是故ニ本條
從テ處斷スル方法ハ前第二十八條ト本條ト同
例ニシテ他ノ各條ニアル重キニ從フ例ト異ナルト
ナシ唯々毆打創傷ノ各條ニ比較シテ重キニ從フ本條
或ハ第二十八條ノ刑ト比較シテ重キニ從フ本條
處斷スルナリ但以下ハ第二十八條ト本條ト同
合シテ註解セシモノナリ讀者惑フコトナカレ
第二百八十三條 裁判官檢察官故ナクシテ刑
事ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者
ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以
上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス○其民事ノ訴ニ
係ル者亦同シ
第二百八十四條 官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ
收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上一年

○ 枉斷 リツタン
正カ
ラダ
ヌシ

以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰
金ヲ附加ス○因テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ
一等ヲ加フ
本條ノ官吏ト云フハ裁判官檢察官警察官吏等ニ非
サル一般ノ官吏ノ職務ニ關シテ不正ノ囑託ヲ受
ケテ犯セシ時ノ
罪ヲ云フナリ
第二百八十五條 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ
賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以
上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以
下ノ罰金ヲ附加ス○因テ不正ノ裁判ヲ爲シタ
ル時ハ一等ヲ加フ
本條ハ裁判官民事ノ裁判ニ關シ原告或ハ被告ヨ
リ賄賂ヲ受ケ又ハ之ヲ受ルコトヲ約束承諾シタル
時ヲ
云

第二百八十六條 裁判官檢事警察官吏刑事ノ
 裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタ
 ル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓
 以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス○因テ被告人
 ナ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮
 ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス○其被
 告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重
 禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附
 加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ
 第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ
 反坐ス

民事上不正ノ裁判アリシ時ト雖モ其害ノ關係ス
 ル所少シ刑事ハ然ラズ假令ハ被告人ヲ曲庇セシ

○情ニ徇ヒ又
 ハ怨ヲ挾ミ
 ノヒナル人ニ
 マレ其情ニ

コノ利慾ノ爲メ法律ヲ枉ケ公衆一般ニ僞ル其罪
 民事上不正ノ取扱アリシヨリ重禁錮六圓二
 月十五日以六十二圓五錢以下ノ罰金是レハ三
 錢以上六十二圓五錢以下ノ罰金是レハ三月以
 上三年以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金
 ナリ又被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年
 以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ
 罰金ヲ附加ス○其被告人ヲ曲庇シタル者ハ三
 月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓
 以下ノ罰金ヲ附加ス○其被告人ヲ陷害シタル
 者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓
 以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス○其被告人ヲ
 曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ
 處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス○其被
 告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重
 禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附
 加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ
 第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照シテ
 反坐ス

第二百八十七條 裁判官檢事警察官吏賄賂ヲ
 收受聽許セスト雖モ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾ミ
 被告人ヲ曲庇陷害シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第一節 謀殺故殺ノ罪

第二百九十二條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト爲シ死刑ニ處ス

第二百九十三條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

毒藥ヲ以テ人ヲ殺セシ時ハ豫メ謀リタルト臨時故意ヲ以テスルトナ同ハス謀殺ノ本條ヲ以テ論シ前條ノ如ク死刑ニ處セラレ、ナリ其故ハ眼前暴行殺器ヲ以テスルニ非スシテ人ヲ無知無心ノ眼ハニ殺害スレハナリ

第二百九十四條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト爲シ無期徒刑ニ處ス

謀殺故殺トモニ人ノ生命ヲ絶ツ者ニ法律ニ此ノ輕重ノ差別アルハ其殺害スルノ主意固ヨリ異ナレハナリ謀殺ハ豫テ人ヲ殺スノ謀畧ヲ爲シ殺ハ臨時事アリテ其憤怒ニ堪ヘスノ忽然殺意ヲ發シ即座ニ人ヲ殺セシ者ナレハナリ

第二百九十五條 支解折割其他慘刻ノ所爲ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ己ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

前條本條トモニ謀殺ニ非サレハ死刑ニ處スルハ其情甚タ惡ム可キ者ナレハナリ

第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル者ハ仍ホ謀故殺ヲ以テ論ス

カ力ニ動キ又ハ他カハコビテモキ物ヲ云フスハ内ニ一切ノ器具ノ内ニモ其用ノ法ト爲テ不動心大低動産ト爲テ然ルベシ

外動産ノ外ニ紙上ニ盡シ難シ其書ニ就テ見地ノ可耕スニ必用ナル器具來動産ニ因テ特用ニ動産トナシモ不動産トナシ置ク

○寄藏品不正物
○決水
川池等ノ堤ヲ切リ水ヲ放チテ又ハ之ヲ立切ル等ノ一
○毀壞殘害
○謀殺前

リ殺心ヲ思フ
ヒ其心ヲ殺ス
ナシテ殺ス
ニテ即チ豫メ
謀テ云々ト云
フモテナリト
○故殺テ其場ニ
ニ殺ス可キ心
ナ生シテ殺ス
モ以テ云々ト
ナフモ豫メ
云ナリト云
カチテ○施用
ヨリテ○臨時故
モナ○臨時故
ヒテ○臨時故
意キゴハノデ
○無知無心ハ
スロコト○謀畧

本條例ハ甲吉ヲ殺サントシテ誤テ乙助ヲ殺セ
シ者アラシ其乙助ヲ殺セトハ過錯ニ出シ者ナレ
ト固ヨリ人ヲ殺スノ主意アレハ過失殺ヲ以テ論
スル比ニ非ラズ謀殺故殺ノ本條ニ依リ其罪ヲ論
スルナリ唯乙助ノ不幸ノミ法律ニ於テ何ソソ甲
乙ノ差別アラシ

第二節 毆打創傷ノ罪

○無知無心ハ
スロコト○謀畧

本節ハ人ヲ毆打シテ折傷以上ノ時ヲ云其傷ヲ加
ヘサル時ハ違警罪第四百二十五條第九項ニ見ヘタリ
第二百九十九條 人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致
シタル者ハ重懲役ニ處ス
毆打創傷ノ罪ハ初メヨリ人ヲ殺シ或ハ傷ヲ加フ
ルノ意ナクシテ唯一時ノ憤怒ニ堪ヘス人ヲ毆打
シテ殺傷セシテ云其豫メ謀テ人ヲ毆打セシ者ハ
例令兇器ヲ持セズ毆打シテ人ヲ殺傷スト雖モ亦
第三百二條ニ於テ
之ヲ差別セリ

○無知無心ハ
スロコト○謀畧

第三百條 人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳
ヲ聾シ又ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷テ陰陽ヲ毀

○無知無心ハ
スロコト○謀畧

敗シ若クハ知覺精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シ
タル者ハ輕懲役ニ處ス○其一目ヲ瞎シ一耳ヲ
聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ殘廢シ癱疾ニ
致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處
ス

ハカリ○憤怒
コト○憤怒
イカチ○忽
ラダチ○忽
然マタチ○支解
人ノ手足ヲ分
解スル類
○折割内チ割
キテ生膽又ハ
胎子ヲ探出ス
等ノ○慘刻
類ノ○慘刻
フシワサト云
猛獸ニクテ毒虫
シメ又ハニハ
ヤメガチニカテ
ヤケタカチニカ
ス等ノヒダカ
リナ
○重罪

毆打創傷ノ罪ニ罰金ヲ附加セシメ之ノ其毆打創傷
セラレシ者ハ醫藥治療ノ資ヲ加害者ニ要求セシ
時ハ貧者或罰金ト治療ノ資ヲ妨ケサルカメニ
者アラシ故ニ被害者ノ要償ヲ妨ケサルカメニ
附加セサルモ治療ノ料ト罰金トヲ出サシムルハ
聊嚴ニ似レハ單ニ被害者ノ爲メニ罰金ヲ附加セ
サルモナリ
第三百一條 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時
間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムコト能ハサルニ至
ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ

輕罪ヲ犯ス重
 輕罪ト云ハ
 輕罪以上ニ當
 ル事ナキ種々ノ
 惡事ヲ云フ
 ○詐稱誘導ヤア
 フキ所トイッ
 ハリ人ヲ○危
 行シム○危
 害ニ陷レ可キ
 所ニイレル○過
 シイレル○過
 錯ナシイコ
 打創傷キウキ
 ○折傷オ
 キケル○瞎
 ツケル○瞎

處ス其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ
 一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス○疾病休業
 ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十
 一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス
 第三百二條 豫メ謀テ人ヲ歐打創傷シ休業癈
 篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ニ記載シタ
 ル刑ニ照シ各一等ヲ加フ
 第三百三條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ
 又ハ己ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ歐打
 創傷シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ
 第三百四條 歐打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタ
 ル者ハ仍ホ歐打創傷ノ本刑ヲ科ス

目スツ ○聾
 ツボ ○兩肢
 ニスル ○兩肢
 肢ハ手足ノ總
 名ナレハ手足
 トハイハハ手
 又ハ手ト云フ
 一ト云フ ○陰
 足ト云フ ○陰
 陽ノ根 ○知覺
 精神ヲ喪失
 ウ又ハキナ
 ガヒトナス
 篤疾ナリ日
 ノ便ガ○殘廢
 デキヌガ○殘廢
 身トナソ○癈
 コナソ○癈
 疾レカドモカ

前條ハ第二百九十八條ト其事犯ヲ同シクシ本條
 殺ノ罪ト歐打ノ罪トニ
 第三百五條 二人以上共ニ人ヲ歐打創傷シタ
 ル者ハ現ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各
 自ニ其刑ヲ科ス若シ共歐シテ傷ヲ成スノ輕重
 ナ知ルコト能ハサル時ハ其重傷ノ刑ニ照シ一等
 ナ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ在ラス
 歐打創傷ノ罪ハ固ヨリ其創傷ノ結果ヲ待テ其罪
 ナ定ムルモナリ故ニ本條ノ如キ二人以上ニテ
 ハ重傷ノ刑ヲ輕傷ヲ成セシ時ハ重傷ヲナシ
 サルヲ得ス併ナカシ其傷ノ重輕誰レガ何レ科
 セシヤ詳カナラサル時ニ於テハ各其本刑ヲ科
 重傷ノ刑ヲ定メ其刑期ニ方テ減シテ先ツ其
 人ヲ罰シテ平均スルハ得ルナリ其教唆者ハ減等
 重傷ノ刑ヲ科スルハ得ルナリ其教唆者ハ減等

ガレ自ノ小用

○要求要償

モトムル金ナ

○疾病ニ罹リ

ヤマツノタメニ

○警ム家業ヲ

○癡篤疾又ハ疾

シテナリ○事

犯罪ヲ犯ス○

現ニゲンザイ

○各自ツナベ

○共歐トミナ

ナレハ其傷全體ノ刑ヲ負ハサルナ

第三百六條 二人以上共ニ人ヲ殴打スルニ當

リ自ラ人ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシ

メタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ

減ス

第三百七條 健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ

人ヲ疾苦セシメタル者ハ豫メ謀テ殴打創傷ス

ルノ例ニ照シテ處斷ス

第三百八條 人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ詐稱

誘導シテ危害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタル

者ハ歐打創傷ヲ以テ論ス

其事犯第二百九十七條ト同シ唯人ヲ殺スノ意

出テ犯シタルト其意ニ非スシテ犯シタルノ別

ニ

○教

○其創傷ノ結

果ヲ待テ云々

創傷ハ其時ニ

定メテ死ス其

傷ニテ死ス其

休業ニテ十日

ハニ十日以下

ケナルヲ見届

テ罪ヲ定ムル

○其傷全體ケ

處ノ傷ヲ云フ

ニ非ス重傷ヲ

第三百九條 自己ノ身體ニ暴行ヲ受クルニ因

リ直チニ怒リ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其

罪ヲ宥恕ス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招

キタル者ハ此限ニ在ラス

第三百十條 殴打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下ス

ノ先後ヲ知ル不能ハサル者ハ各其罪ヲ宥恕ス

ルヲ得

○殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

總則第七十五條以下ノ不論罪及ヒ宥恕減輕ハ刑

法全體ニ通用シ此節ノ宥恕不論罪ハ第八十四條

ニ關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

關シタル罪ニ別ニ記載シタル者ニシテ專ラ殺傷ニ

指シテ ○ 幫助
 云フテ ○ 幫助
 テハハ甲助乙
 例ハハ甲助乙
 右衛門甲助乙
 シテ乙吉ノナ
 ナラシメ自由
 手ヲ押メス由
 助ノ毆打スル
 ナル類 ○ 健康ヲ
 害ス可キ物品
 人ノ生命ニ關
 スル毒藥ヲ云
 フス ○ 疾苦
 非ス ○ 宥恕
 ムシ ○ 宥恕
 シテ ○ 宥恕
 可キ刑然受リ

第三百十一條 本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直ニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限リニ在ラス

第三百十二條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル爲メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス

本條ハ晝間故ナク入り來ル者ヲ防止スル爲メ殺傷シタル者ノ罪ヲ宥恕スルヲ云フ其入りタル者ノ罪ハ第七十一條ニ在リ併ナカラ已ニ殺サレシ時ニハ死屍ヲ罪セサルハ言フナマタサルナリ

第三百十三條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

ルコ ○ 不論罪
 罪止ヲ得ス全
 シテハ全罪
 ノテハ全罪
 ノナルハ全罪
 レナルハ全罪
 己ノ身體ノ自
 己ノ身體ノ自
 カラ ○ 暴行
 ダ ○ 不正ノ所
 爲云々自事
 ナ仕カテタ
 互ニ創傷二人
 向ヒテタハキ
 合ヒキツタス
 トルコ ○ 姦通

本條マテハ宥恕減輕ス可キヲ云以下二條ハ其罪ヲ論セサル場合ヲ云フ

第三百十四條 身體生命ヲ正當ニ防衛シ已ムコトヲ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ爲ニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス其罪ヲ論セス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

本條ハ人ヨリ暴撃ヲ受ケ己ニ自己若クハ他人ノ生命ニ害ヲ被ラントスルニ當リ暴行人ヲ殺傷セザルハ外ニ道ノ可キ途ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者トハ夜間故ナク人家ニ入り主人ニ見答メラレ毆撃ヲ受クル場合或ハ姦夫姦所ニ於テ本夫ニ撞見セラレ毆撃ヲ受クル等ハ即チ自ラ暴行ヲ招キタル者ナレハ本條ノ限ニ地ヲサルモノナリ

第三百十五條 左ノ諸件ニ於テ已ムコトヲ得サルニ出テ人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス

知覺トテトコ
ケルヲミツ
○姦
所合ノトコロ
○縦容コセシト
ガスミノ
○牆壁
キナリガ
○踰越
損壞又ハリコヘ
スリコハ
○防止
グセ
○正當ニ
防衛シ己ム
ヲ得ザル云々
セラノ限リ
モセギマモリ

一 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出タル時
二 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時
三 夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時
第三百十六條 身體財産ヲ防衛スルニ出ルト雖モ己ムヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害己ニ去リタル後ニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情狀ニ因リ第三百十三條ノ例ニ照シ

ハヤ暴人ニ傷
ヲツケ又ハ自
分又ハ他人ノ
生命ニ至リハ
生傷合ニ至リ
シ時ヲ
○暴擊
ウチンヤクニ
フチンヤクニ
○追
途ナクテ道路
ノミナラズテ
非スミナヘテ
ガナルハテダ
ノナルハテダ
○撞見
○財産ニ對シ
云々有物ヲ他

其罪ヲ宥恕スルヲ得
第三百十四條 第三百十五條ハ本條ニテ其結局ヲ得ルモノナリコソ暴行人ト雖モ妄リニ殺傷スルヲ示スナリ
第四百節 過失殺傷ノ罪
第三百十七條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癢篤疾ニ致シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
本條ノ過失トハ即チ前條ノ疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セズ過失ニ因テ犯シタルヲ數字ヲ畧シテ過失トノミ記ルセル者ナリ次條モ倣之

人カトラントシ
又ハ家屋ニ火
ヲ付シトシ其
他暴行ヲナシ
ントスル時之
ヲモルメ
己ヲ得ス暴人
ヲ殺傷セシ時
○盗賊ヲ取還
スルトリスル
品物ヲトリカ
ヘスコト
○危害己ニ去
リタル後盜賊
ヲ殺傷セシ時
又暴行人己ニ
逃走シ又己ニ
ニトラワシタ
ル等ニテ最早
危害ノナキ

第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休
業ニ至ラシメタル者ハ二圓以上五十圓以下ノ
罰金ニ處ス
過失ノ創傷疾病休業ニ至ラサル者ハ其罪ヲ問ハ
サル者ナリ正條ノ無キヲ以テ知ル可シ又其罰金
ハ舊律ノ如ク殺傷セラルルハ家ニ給シ埋葬及ヒ
醫藥ノ資ト爲スニ非サルナリ被害者ノ之ヲ要求
スル方法ハ治罪法第三條ニ依リテ下條々ニ見ヘ
リ果シテ舊律ノ如キ官之カ高キ定メ其罰金ヲ被
害者ニ直ニ給與スルハ過失殺傷ハ社會ニ對シ其
罪無キモノトナルナリ

第五節 自殺ニ關スル罪

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ
囑託ヲ受ケテ自殺人ノ爲メニ手ヲ下シタル者
ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上
五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其他自殺ノ補助ヲ

○情狀
○結局
○過失
殺傷
規則
守セ
ヲ殺
○疎虞
○懈怠
○規則
布命
令又
ハ禁

爲シタル者ハ其罪ヲ減ス
第三百二十一條 自己ヲ利テ圖リ人ヲ教唆シ
テ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス
第六節 擡キ人ヲ逮捕監禁スル罪
第三百二十二條 擡キ人ヲ逮捕ノ又ハ私家ニ
監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮
ニ處シ三圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但
監禁日數十日ヲ過ルル毎ニ一等ヲ加フ
現行犯ノ外ハ逮捕官吏ニ在ラサレハ之ヲ逮捕ス
ルヲ得ス又監禁スルハ規則ニ定メタル官吏
ノ外ハ妄リニ人ヲ監禁スルヲ得サルナリ故ニ
之ヲ犯シタル者ハ本條ノ刑アリ但此節ハ一般平
人ノ本條ノ罪ヲ犯シタル處分法ハ第二編第二百
七十八條以下ニ見ヘタル尤官吏ト雖モ逮捕司獄
ノ官吏ノ外ハ一般平人ト同罪ナル者ナラシメ

止ノ件云○慣習
 昔シヨリ仕キ
 ○埋葬及ヒ
 醫藥ノ資ムホリ
 又ハイシヤノ
 リヤウシ及ヒ
 藥代ヲツクナ
 フモトナクナ
 ○要求即チ埋
 葬ノ損害ヲモ
 トムル要求ナ
 リ
 ○自殺自命
 ナツナリシガ
 イト云ト同シ
 ○囑託ヲ受ケ
 云々自殺スル
 ヨリタル

第三百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ毆打
 拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲
 ナ施シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ
 處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾
 病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照
 シ重キニ從テ處斷ス
 第三百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ
 際其監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル
 者ハ亦前條ノ例ニ同シ

第七節 脅迫ノ罪

脅迫トハ言語文書ヲ以テ人ヲ畏懼セシムルヲ云
 フ兇器腕力ヲ以テ人ヲ畏懼セシムルハ暴行ト云

ノ首ヲハケケル
 共ニテ即チ介
 錯ノコト也
 ○補助スル罪
 ○擅ニ人ヲ逮
 捕監禁スル罪
 ハヲトテハ可
 ハ獄ニ入ル可
 キ役ヲ行フ者
 ガ之ヲ行フ罪
 ナ○私家ニ監
 禁シマニシコ
 メオ○逮捕官吏
 檢事警察官吏
 等ヲ云フ但令
 狀ニ依リ人ヲ
 逮捕ス可キモ

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ
 住居シタル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一
 月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十
 圓以下ノ罰金ヲ附加ス○毆打創傷其他暴行ヲ加
 シト脅迫シ又ハ財産ニ放火シ及ヒ毀壞劫掠セ
 シト脅迫シタル者ハ十一月以上二月以下ノ重
 禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 前項ハ人ノ生命及ヒ人ノ現ニ住居シタル家屋ニ
 對シタル脅迫ヲ云ヒ後項ハ毆打創傷監禁制縛ノ
 類ヲ以テ脅迫シ及ヒ人ノ住居セサル家屋建造物
 船舶ノ類ニ放火セント脅迫シタルヲ何レモ脅
 迫シタル而已ナシテ其刑ヲ科スルハ人ヲシテ一
 時モ安心セシメス不斷苦心恐怖セシムレハナリ
 第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯
 シタル者ハ各一等ヲ加フ

○見ナリ治罪法
 ○司獄官吏
 ○制縛
 ○殴打拷責
 ○毆打拷責
 ○苛刻
 ○水
 ○火震災
 ○去食物衣類
 ○飲食衣服ヲ屏
 ○モ、キ、ス、ル、ウ、

兇器ヲ持スルハ脅迫ノ用ニ供セシトシテ持人ノ兇器ヲ懐ニシテ人ニ之ヲ見セシテ脅迫ヲナシタルトシテ等ヲ加フルニ在ラサルナリ

第三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫シタル者ハ亦前二條ノ例ニ同シ

本條例ヘハ甲助ヲ脅迫セシメ其甲助ノ親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ言語又ハ形容ヲ以テ甲助ヲ畏懼セシメタルヲ云フ其親屬トハ總則第百十四條ノ親屬ヲ云フ

第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタル者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第八節 墮胎ノ罪

胎兒モ同シク人ナリ之ヲ殺ス不問ニ措ク可カラサル勿論ナリ然レモ未タ社會ニ形ハレサル者ナ

脅迫
 兇器腕力
 械又ハ力
 以テス
 ○毀壞
 劫掠
 ○建造物
 佛堂ハ勿論納
 屋雪院ニ至ル
 總テノ苦
 心恐怖
 ○告訴被害者
 告訴トヘ云フ

設クハ宣シク其別ナカル可カラス故ニ別ニ本節ヲ設ク

第三百三十條 懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ墮胎シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一年以上三年以上ノ重禁錮ニ處ス

本條婦女ヲ死ニ致シタルハ四年トヨリ其意ニ非スシテ死セシ者ト雖モ尙ホ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處セラル危険ノ事タルハ墮胎ノ所行タル婦女ノ命ニ關スル危険ノ事タルハ皆人ノ能ク知ル所ナリ故ニ之ヲ犯シテ死ニ致セハ必ス加重セサルヲ得スコレ總則第七十七條第二項ノ法律規則ニ於テ別ニ罪ヲ定メル者ハ此限リニ

○胎兒モリラセ
 ○社會ニ云々
 此世ニ産ノレイ
 一載ヲ云フ
 女ニ嫁トシタ
 ル未ダ嫁セザ
 ○第三百三十
 一條ハ墮胎ヲ
 罪トシテ所行
 ザシハ○危險
 一ウキ○穩婆
 リト

第三百三十二條 醫師穩婆又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ
 醫師穩婆又ハ藥商等前條ノ罪ヲ犯セハ舊律ノ如ク同罪ヲ以テ論セス必ス各條ニ照シ一等ヲ加フ反テハ其職業ノ本旨ニ害スレハナリ
 第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス
 第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ非ラス毆打其他暴行ト云フハ墮胎セシムルノ意ニ非ラス毆打其他暴行ト云フハ墮胎セシムル

ハア○藥商
 許ナリヤ及ヒ免
 ナスモト○其
 職業ノ本旨ニ
 戾商等ハ其職
 命健康ヲ保護
 スル者ナリ○威
 逼セオド○誑
 騙シテ藥物其
 他ノ方法ヲ以
 テ強ヒテ墮胎
 ナシムル○意
 外ハオズ○類似

其他暴行ヲ爲セシメ因テ意外ニ胎子ノ出離セシムル意ニ出テタルト云フハ故意ニ以テ爲セシムルヲ意ト故殺ト一般ナリ故ニ加重シテ輕懲役ニ處ス
 第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ廢篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス
 第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪
 幼者ハ滿八歳以下ヲ云フ老疾者ハ年齢ヲ問ハス唯タ老年衰弱シテ自衛ノ力ナキ者及ヒ廢篤疾ノ者或病患ニ苦シミ甚タ憐ノムヘキ者ヲ云何レモ人ノ保護ヲ得サレハ生活スルニ能ハサル者ヲ遺棄スル罪ナリ幼者ハ八歳ニ滿サル者ト定ムルハ八歳以下ハ未ダ智慮ノ備ハラサル者ト見做セハナリ是故ニ八歳以下ノ者ノ所爲ハ如何ナル罪ト雖モ刑法上問フ所ナシ總則第七十九條見合スヘシ
 第三百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス○

○罪一般同
 ○遺棄スル
 罪ノ罪ナリ然
 レモ直ニ自家
 ナル可所ハ遺
 棄ノ罪トセス
 又他所ニステ
 踪タルモ自ラ
 小亦遺棄○衰
 ノ氣力ノオト
 弱○自衛自ラ
 ○自衛自ラシ
 身ヲ○生活
 モルテ○曠野
 ホルテ○曠野

自ラ生活スルコ能ハサル老者疾病者ヲ遺棄シ
 タル者亦同シ
 本條幼者老疾者ヲ遺棄スルハ次條ノ如ク山林曠
 野ヲ寥闕無人ノ地ニ遺棄スルヲ云フニ非ス其幼
 者老疾者ノ資力ナク實ニ止テ得ス之ヲ遺棄シテ
 育スルノ資力ナク實ニ止テ得ス之ヲ遺棄シテ
 諒スヘキ者ヲ云フ
 第三百三十七條 八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾
 者ヲ寥闕無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上
 四年以下ノ重禁錮ニ處ス
 本條ノ如キハ其生命ノ危キヲ顧ミス無人ノ地
 ニ遺棄スルハ其所行甚タ惡ム可シ故ニ前條ヨリ
 重クシテ四月以上四年
 第三百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ
 保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一

○寥闕無人家
 ○教育ケタス
 ○憫諒ハア
 ○給料
 又ハ老年ノ者ヲ
 他ヨリ預リ其
 扶持ヲ取リ又
 ハ一時ニ手切
 ノ金ヲ添テモ
 ラヒシテ云フ

等ヲ加フ
 前三條ハ唯タ遺棄シタルノ刑ナリ其遺棄ノ
 爲身體生命ニ關セシ時ハ次條ニ依リ處斷ス
 第三百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ癱
 疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタ
 ル者ハ重懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ有期徒
 刑ニ處ス
 第三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守ス可キ
 地内ニ遺棄セラレタル幼者老疾者アルコトヲ知
 テ之ヲ扶助セス又ハ官署ニ申告セサル者八十
 五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス○若シ疾病
 ニ罹リ昏倒スル者アルコトヲ知テ扶助セス又ハ
 申告セサル者亦同シ

此罪ハ孩兒多クモラウニ多クシテ老衰者ニシテ至テモレ寄託ノマ也
 ○看守ス可キ地内他人ノヨシテウケテハ内
 ○扶助ケタル昏倒氣ヲ失目ホクシラマシタ
 ○畧取リムニツヤクレユ○誘拐マダユシテツソ
 ○自

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

第三百四十一條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シ又ハ誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ三年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

十二歳ニ滿タル幼者ハ氣格精神未ダ備ラス分別スルノ智慮ナク之ヲ畧取スルモ誘拐スルモ至テ容易ナリ又之ヲ他ニ畧賣シテ苦役ヲ爲サシムルモ畏懼シテ之ヲ拒ム能ハサル者アリ仍テ下ノ罰金モ多キ者ナリ

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

ラ藏匿カ自分ガ
 ○交付他人ニ
 ○氣格誘拐取ルス
 ○精神分別
 ○知慮
 ○容易
 ○苦役男
 ○家屬猶家内
 ○僕婢モシ

其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者ナルヲ知テ自己ノ家屬僕婢ト爲シ又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

本條ハ前二條ノ犯人ヨリ幼者ノ交付ヲ受ケ之ヲ使用シ或ハ他ニツカハシ利ヲ貪リナドセシ者ノ罪ナリ然レモ其畧取誘拐ノ情ヲ知ラサルコト明カナレハ本條ノ問フ所ニアラサルナリ
 第三百四十四條 前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼者式ニ從テ婚姻ヲ爲シタ

